

ABC News

'These young people today made their commitment.'



In Korea this week-end eighteen hundred couples, all followers of the Reverend Sun Myung Moon, committed mass matrimony. ABC's Irv Chapman was there and tells us about the eighteen hundred all-at-once weddings:

The wedding-hall was the Chang Chung Gymnasium in downtown Seoul. Eight-hundred of the couples were Japanese, eighty-five were American. More than half the total came from here in Korea, where the Unification Church has its largest membership. The man officiating was the founder of the church, the Reverend Sun Myung Moon. Fresh from a rousing tour of the United States, Reverend Moon was spending just a few weeks here in Korea. To the faithful he is Heaven's instrument on earth, and they did not truly meet to marry except in his presence.

There were in the hall many happy parents joining in Reverend Moon's prayer. But some of the couples, particularly in Japan, who chose to marry

at Reverend Moon's behalf left angry parents behind. They demanded of church officials in Tokyo that marriages lacking parental consent be stopped and some were. They asked the foreign minister not to let their children out of the country. But some of those over the age of consent would not be stopped. For some of the most faithful of church workers, the very choice of a spouse was left in Reverend Moon's hands.

Steve Deddens:

There were situations where he said—would you and you, after some consideration, be interested in getting married together? In some situations, the person said 'No.' So then they are not married.

Richard Barlow:

When we came to Korea this time, Reverend Moon asked if there were any people, any brothers especially, who

would be interested in international marriages with black people. And to me this is something really great, to have a universal attitude where you see the heart of a person, not the skin color.

Hazel, how do you feel about it?

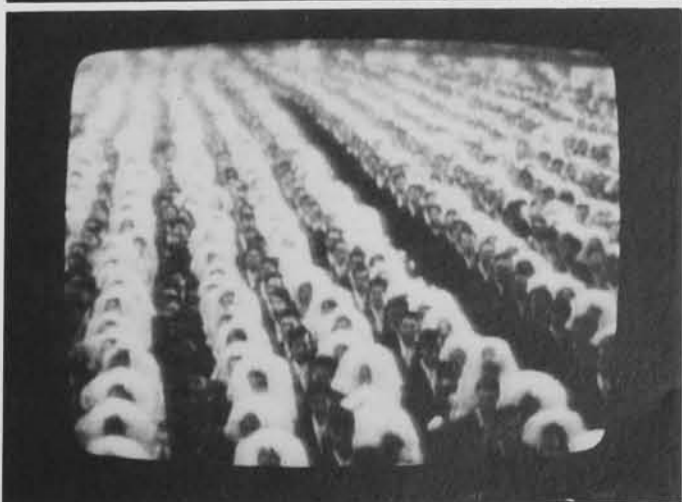
Hazel Barlow:

I really feel very strange.

Reverend Moon took most pride in mating church workers from different countries. And so the brides and grooms exchanged wedding rings. But by Unification Church practice, they will not consummate the marriage until forty days have passed. The congregation cheered. Confetti fell from the rafters.

All over the world there are people looking for a commitment. These young people today made their commitment for better or worse to their church and to a spouse.

This is Irv Chapman, ABC News, Seoul, Korea.



サンデー毎日

3・2
150円

一八〇〇組「幸福の大デモ」に影を見た!

きらびやかな礼服の文鮮明教祖夫妻が、両手をひろげて祝福すると式はクライマックス

毎日新聞ソウル特派員 前田 康博

氷点下十度にまで冷え込んだ八日朝、ソウル市東大門区の愛忠体育館前は黒と白の異様とした形容できない男女の集団によって埋めつくされていた。「神の御教えに基づき人種、国籍を越えた信者が結ばれ罪汚れない神の子をつくる」——韓国人、文鮮明氏(55)を教祖とする「世界基督教統一神霊協会」の集団結婚式に日本から親の反対を振り切った子女が多数参加するというので、早朝から取材に出かけた。

千八百一組、三千六百二人の男女の大群は想像を超えた光景だった。午前十時からマンモス体育館の中央ホールで式が始まり屋外には、息子や娘たちの晴れ姿を見にきた韓国人の父母たちが詰めかけ、四列縦隊に並んで入場するカップルに向かって大声で呼びかけたり、手招きする。国籍の別なく男は黒や濃紺のスーツ、女は純白の韓国の民族衣装であるチマ・チヨゴリ。どれが日本人やら、韓国人やらさっぱりわからない。統一協会側の発表によると韓国人組のほか、日本人七百九十七組、欧米人百十一組など、国籍別では、米英仏デンマーク台湾南アなど二十カ国となっている。

「両親は反対でも感激なんです」
韓国人の親たちの中には新郎新婦のそばに立ち、街頭写真屋を呼んで記念写真を撮らせるものもある。新郎がカメラを持って新婦や兄弟を撮っている和やかな風景も。しかし大半のカップルは物見高い市民の視線の中で整然と二人で腕を組んで立っている。「イルボン・サラム(日本人)ですか」と十数組聞いてやっとな日本人組の並ぶ列をつかまえる。群馬出身の花婿(28)は「交際し

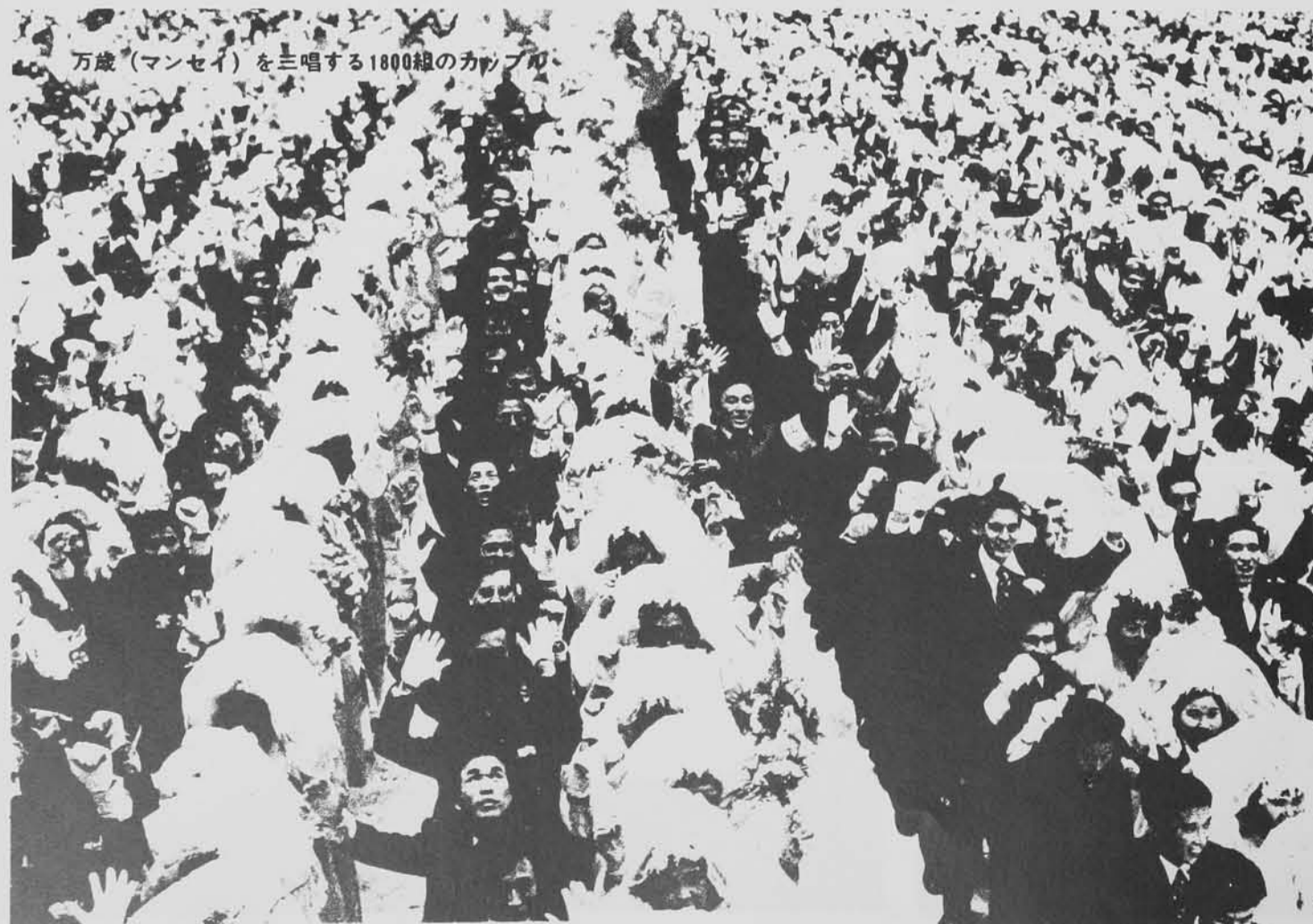
て半年ほど。希望の相手五人を協会側に提示し、教祖さまに最終的に決定していただきました。両親ですか? はじめは反対していましたが、いまは喜んでくれています。どうしたことが花嫁はこのやりとりの間顔をそむけたまま、一度もこちらの話に加わらない。

二人とも大阪出身というカップル(男二十九歳、女二十七歳)は「協会に入ってから経過したもの同士です。お互いいろいろな機会に意思を伝えあつた結果、結婚に達したので、こんな感激はありませぬ。両親は反対していますが、かわるがわる答える。しかし両親の反対について詳しく尋ねると、それ以上は口をつぐんでしま

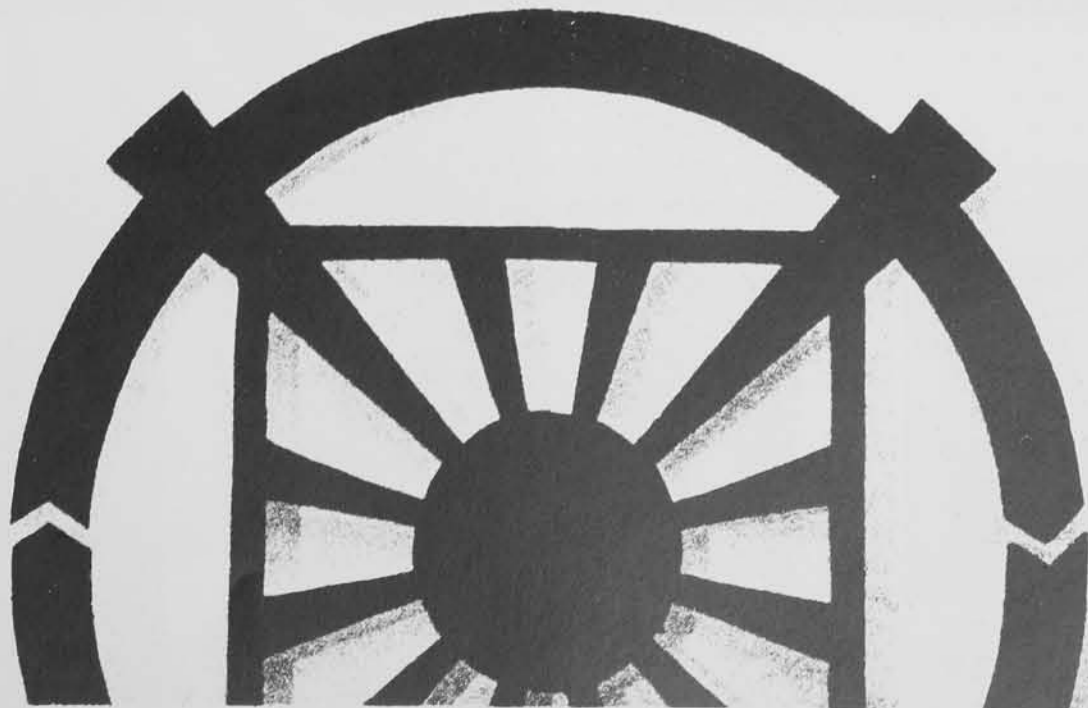
和服姿の中年女性も何人か見かける。日本から式に参列した親たちで、もちろん結婚賛成組だ。東京から飛行機で娘(26)と一緒にきた母親(54)は「ここにいるカップルの親たちはみな戦争後の苦しい中で子供を育ててきたんですよ。私も信仰を持つゆとりもなく働いてきました。娘が入信したというのを聞いたのは四年前だったかしら。一人娘ですから手放すのは寂しいけど」と涙をハンカチでぬぐう。結婚を中止させようとやってきた親を探したが見つからない。

このあと会場でインタビューした母親(大阪・五十八歳)も「私は入信してはいないが成人になった娘(27)が信仰を持つというのには反対できない。集団で結婚式をするというので、だれかわからない相手と突然結婚したり、国籍が違う人とは困ると反対したが、結局そんなことはなく、本人の好きな人というので納得した。反対する親がいても不思議じゃない。しかし子供といつても

次のページにつづく



1800組のカップル(マンセイ)を三唱する



Japan

一組一組の新婚カップルに聖水をふりかける文鮮明教祖夫妻
妻 ローマ法王のような教祖夫妻の衣装が荘重さを増す…



凍てつくような戸外で式の順番を待つ 白いチョゴリ風のウェディングドレスを着た花嫁たちは寒さに唇をかみしめ こきざみにふるえていた……

式後 ソウル市内をパレードするためにバスに乗り込む喜びあふれる1800組のカップル…



▼、教祖の一方的指名によって結婚相手が決められる、という事で両親の強い反対に会い、マスコミでも取り上げられた統一教の合同結婚式が8日、ソウルの美忠洞体育館で千八百組のカップルを集めて行われた。▼8日のソウルは零下10度という寒さ、その中で文鮮明教祖の説教によって式は始められた。一組一組に聖水をふりまきお祝いの言葉をかける…。この中には別組の日本人カップルも含まれ、様々な問題を投げかけながらも、本人たちは信仰と愛に満ちた生活へ入った。

型どおりに式は進み 指輪の交換もつがなく終った 統一教の教理にのつとつた愛を確かめ合う一瞬



週刊明星

NO.9/3月2日号

THE SHŪKAN-MYŌJŌ

***世界の目が集まった合同結婚式!**

教理と愛を誓った3600人の若者
韓国ソウルで集団結婚式を
挙げた統一神霊教会
信者のカップル



3600人が一同に会した式場は荘厳そのもの



韓国 日本 米 英 仏 など国籍も様々 前大未聞の巨大な合同挙式だ

I'm going to tell you one little story that I experienced this morning. On the breakfast table was a letter which I opened. It was a letter of protest from the parents of one of the American members who married a Korean. They wrote protesting that, "I told my son or daughter, so-and-so, to marry an American, not a Korean. But he married a Korean. Why is this?" The letter said, "You're wrong!" But I don't believe I'm wrong, because she's talking from an American viewpoint. In the same way, Korean parents won't be happy, for their son marrying an American. We did it because we knew they were destined to love. We did it, and we have to pursue that tradition.

Sun Myung Moon
March 5, 1975

Japan

週刊文春

2 / 26

130円

Before anything else you must be able to have your mind work with God in union with God's demand, and then your sensation of love towards God must be more than that between the brothers and sisters and within the couples. By our doing that, we can build our perfect individuals, and from there on we can widen the scope to build the Heavenly Kingdom on earth.

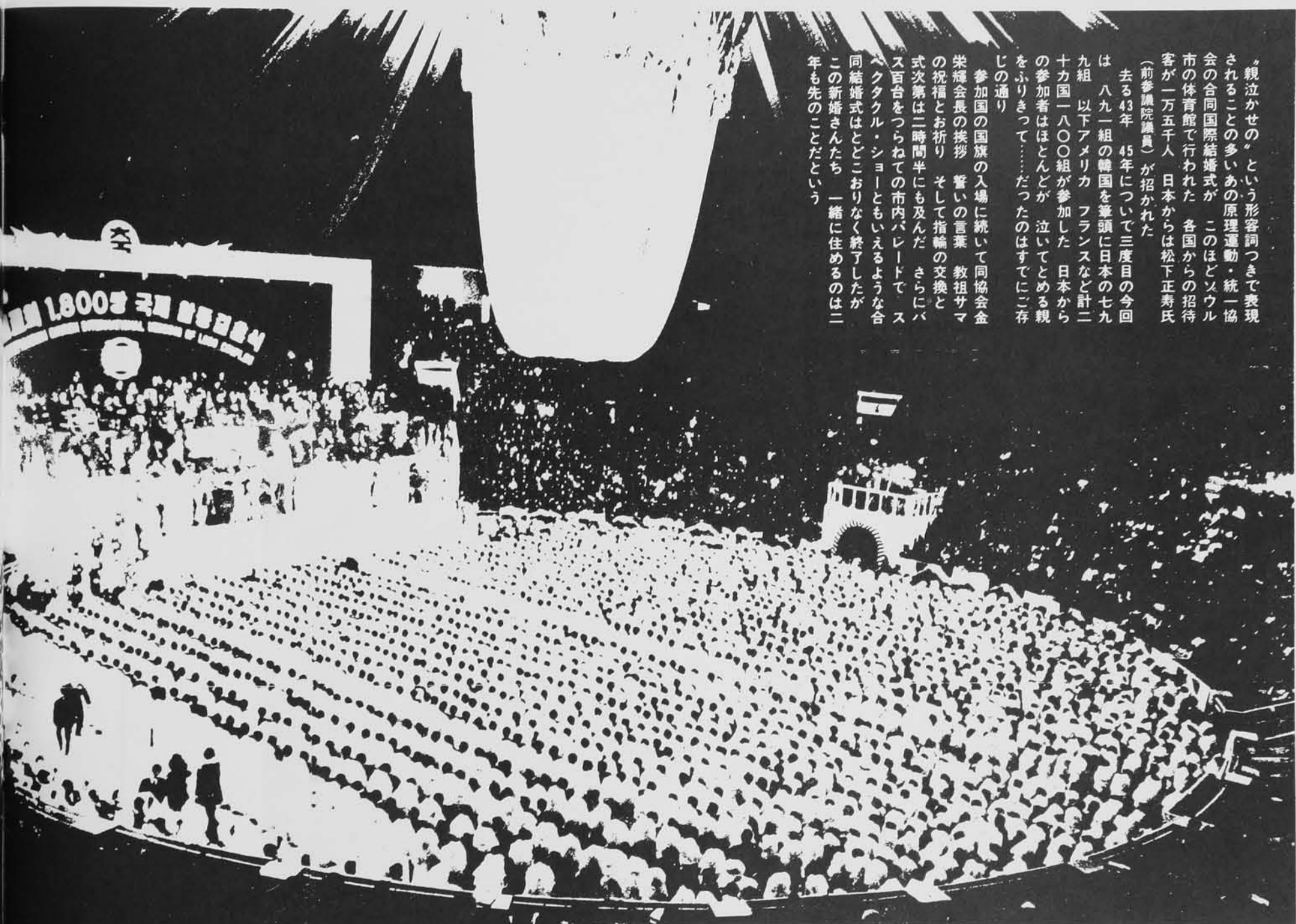
Sun Myung Moon
August 11, 1974



People of all races—black, white and yellow—and all cultural backgrounds, whatever the language you speak, go and transcend these things and become truly trusted brothers and sisters. We will set the tradition of true brother and sister which Adam and Eve failed to set in the Garden of Eden. They were supposed to be a God-centered brother and sister, representing true brothers and sisters. They failed. Now God is asking you to set that tradition. What then is the basic philosophy or basic principle in creating this tradition? It is service, selfless service.

Sun Myung Moon
March 24, 1974





「親戚かせの」という形容詞つきで表現されることの多いあの原理運動・統一協会の合同国際結婚式が、このほどソウルの体育館で行われた。各国からの招待客が一万五千人、日本からは松下正寿氏（前参議院議員）が招かれた。去る43年、45年について三度目の今回は、八九一組の韓国を筆頭に日本の七九九組、以下アメリカ、フランスなど計二十カ国一八〇〇組が参加した。日本からの参加者はほとんどが、泣いてとめる親をふりきって……だったのはすでに存じの通り。

参加国の国旗の入場に続いて同協会金栄輝会長の挨拶、誓いの言葉、教祖さまの祝福とお祈り、そして指輪の交換と式次第は二時間半にも及んだ。さらにバス百台をつらねての市内パレードで、スベクタクル・ショーともいえるような合同結婚式はとどろきなく終了したが、この新婚さんたち、一緒に住めるのは二年も先のことだという。



文鮮明教祖(55)と夫人から一組ずつ祝福の握手と聖水の洗礼を受ける

親泣かせ「結婚」の1800組

—ソウルで行われた国際集団結婚式—





撮影
W W P
山口浩

静れやかに記念写真の撮影。しかしこの新郎新婦に甘い、新婚生活はない。自分の間は別居して布袋にはげものが当然なのだそう。



Love is the fulfillment of life. That's the purpose for which we were born, the purpose for which we live.

Sun Myung Moon
September 11, 1974



◀式に参列した家族たちは客席から “わが子を一目……”とひろい式場を見つめていた

日本からの信徒たちは来韓以来合宿して

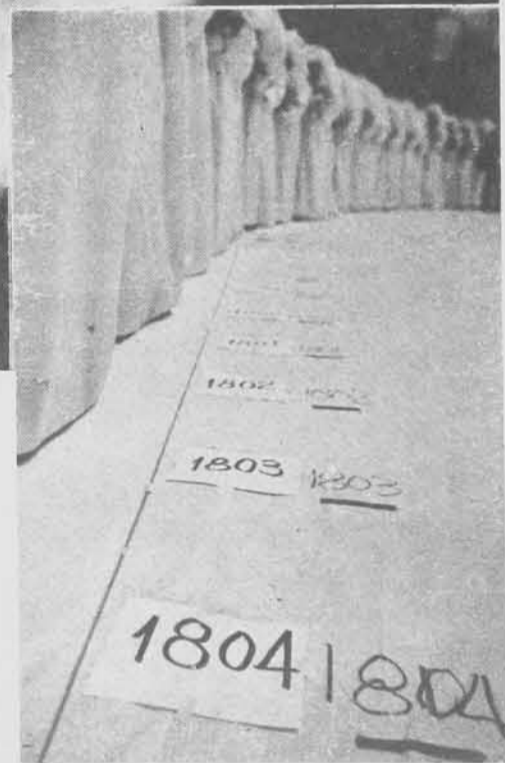




フォト
ドキュメント
本誌特写

サンデー毎日三月二日号

サンデー毎日



文教祖の説教に感激を抑えきれず おえつが会場をつつむ

これが問題の “原理運動” 集団結婚式！

の日の結婚式を待った

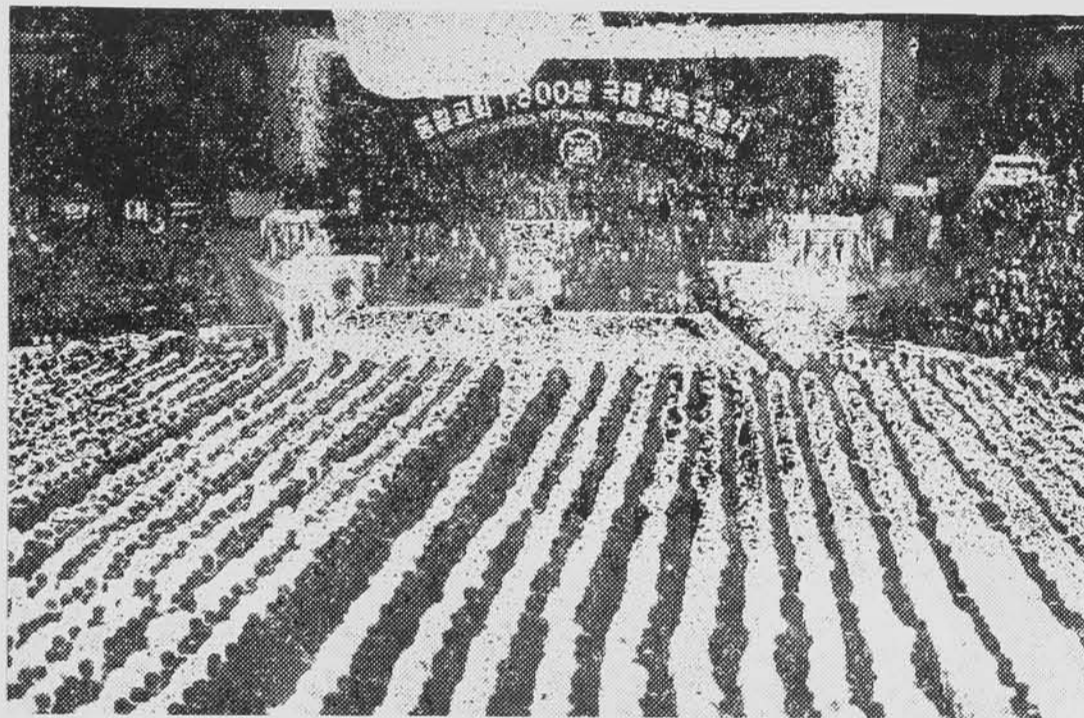


式を終えバスで市内
パレードへ 2人は
すぐに結婚生活に
入れるわけではない

大広間にふとんを敷いて
就寝の準備（式の前夜）

いずれも 京畿・揚州郡にあ
る統一協会中央修練所内で

1,800組 国際合同結婚式



◇ 世界20個國の一千八百組が一時に擧げた合同結婚式の光景

親密感と協同心及び、団結意識の増進の爲の大祭典。同じ理想を持ち、同じ仕事のために苦勞してきた、若い統一要員三千六百名の男女が、去る二月八日午前十時に、ソウル愛忠洞体育館に於いて、五百余名の内外賓客と、新郎新婦の父母、親戚等一万余名の賓客の参席の下に、文鮮明先生の主礼で、合同結婚式が挙行された。結婚式の参加人員は、韓国人八百九十一組、日本人七百九十九組、欧米、その他各國百十一組、国際結婚二十組、がらなる「統一教会千八百組、国際合同結婚式」である。

民族と國家超越 全人類は一家族

新理想社会建設のために

週刊宗教

文鮮明先生の進行で

郭錠煥(協会学生部長)の司会で行われた同日の結婚式は、警察の音楽隊の演奏で、厳粛であり、華やかな式が挙げられた。金榮輝・世界基督教統一神靈協会会長は式辞を通して「韓国を始め、日本、米、英、西独、オーストラリア、ベルギー、アイスランド、スイス、オーストラリア、トリニダード等二十個國の精鋭要員の中から選ばれた、千八百組の善男善女達に於いて、各自が永遠の相対者を得て、このような聖婚の儀式を持つようになったことは、史上初の大慶事であると同時に、その意義

又、実に深大であると述べた次いで、満場を成した賓客達の拍手の中に、文鮮明先生御夫妻が登場された後、同日の主人公である新郎新婦の入場があり二組(四名)づつ一組になってロイヤルボックスに上り、主礼の聖水洗札を受けフロアーに列んだ。午前十一時三十分、約一時間間に亘る新郎新婦の入場が終って文鮮明先生は、五個條の宣誓問答をなされて、新郎新婦からこの一個條一個條を通して宣誓を受けられた。その後、文先生は祝福を遺して彼等の無窮なる発展と、永遠な幸福を祝願して、千八百組の結婚成立を宣布した。同日、新郎新婦達が交換した礼品は、統一教会のマークが刻まれた金の指環である。又、この日の結婚宣布が終ってから韓国の新郎新婦の代

表が出て、主礼に礼品と花束を捧げ、外國の新郎新婦は、邸宅を二棟寄贈した。次に慎道成・統一院長官と松本氏(前日本参議院議員)の祝辞があり、具津春ソウル市長の記念バッチが、手渡され國內、米、日、等、世界五十余の宣教師から来た數百通の祝電の一部を朗読し、その後、文先生の先唱で万歳三唱をもって、この画期的で、史上最大の合同結婚式の幕が降ろされた。退場した新郎新婦は、百余个のバスに分乗して、獎忠体育館を出て漢南洞↓第三漢江橋↓江辺道路↓第一漢江橋↓水登浦↓汝矣島五・一六広場↓麻浦↓西大門↓盤泉↓独門立↓社稷トンネル↓仁旺・北岳スカイウェイ↓ミアリ↓敬岩洞↓新設洞↓若水洞を通過してソウル市を一周してから獎忠体育館にまた帰って来て

それ迄待っていた父母親戚知人達に挨拶をするなどそれぞれに時間を持った。主催側は、午後の七時三十分、同じ場所に於てフライボイイ郭圭錫氏の司会で、呂大泳楽団、李美子、金相國等人を手招いて「祝賀の夜」を繰り広げて賓客、新郎新婦と楽しい一時を過ごした。この「祝賀の夜」には、韓国、日本、米、ヨーロッパの新郎新婦達とリトルエンジェルスが特別に出演して、その宴を一層意義深いものにした。統一教会の合同結婚式は去る一九六〇年四月十日世界基督教統一神靈協会の本部(ソウル龍山区青坡洞)で行われた三組の合同結婚を初頭で、今回八回挙行されたのであって、同日の結婚式は「統一教会」年十月二十一日に行われ、百七十七組の合同結婚以来、五年目に挙行されたのである

集團結婚に対する見解

原理運動における

異常性への辯明

最近、韓国において行なわれた統一教会の集團結婚が、日本で問題になっている。この集團結婚に対する高橋正和氏（哲学者）の見解を掲載する。

今回の統一教会に対する法難とも言うべき反原理運動集團（とは言うまでもなく二十数名から成る、集團のようであるが）から一部偏向ジャーナリズムを武器とした論難攻撃の一大キャンペーンは、統一原理という宗教的・哲學的原理を信奉するからには必然的に重要な問題圏における結婚の問題に対して為されているだけに、一見はいかにも集團スキヤンダルの様にも映ずるであろうが、統一原理を信奉する者ないしはそのシンパに属する者にとっては、正面から弁明しなければならぬ問題である。

この問題に対する好奇の目は大略次の五点に集中されていると思われる。

- 一、特定宗教—思想集團内部で生じた点
- 二、集團見合、集團結婚という形式をとっている点
- 三、教祖の故園である韓国で式される点
- 四、教祖に直接的に祝福される点
- 五、結婚、入籍後も原則として三年間は肉體関係も持たず別居する点

そこで私は、宗教的であるよりも、より倫理的—哲學的側面でのシンパとしての立場から、頼まれもしないおせっかいと返って非難されることを十分承知しながらも敢て一応の弁明を試みることにする。

第一点についてみれば、過去の宗教史の中で最も典型的なものを我々はカトリックのそれに求めることができる。しかも、実質的には相当度に宗教的純度の低下した現今のカトリック教団でさえ、この形式が厳存している点は見逃せない。また、その厳格度がカトリック程ではないにしても、かつて

の日本宗教史に一時代を画した内村鑑三を中心とする無教会派や山室重平を中心とする救世軍運動の勃興期には、今日の統一教会が遭遇している様なパターンが歴史的に繰り返されてきた。歴史的事実も見逃せない。

更に枠を拡大して、宗教史を精神史の一端として考えれば、新文學運動における与謝野鉄幹・晶子高村光太郎・智愛子の結婚にその典型を認める様な、いわば特定精神運動集團内部で生じた、しかも時代の好奇の目を吸い寄せた結婚様態は、それこそ牧草にいとまのない程である。故に、これは新しい精神運動が勃興する際に、そこに必然的に生起する旧くして新しい、いわば人類史上の現象であるとも考えられる。

第二点についてみれば、我々はその最も道落した姿を、大量生産時代の今日に見出すであろう。それは結婚相談所を中心としたものである。そしてそこに存する法的利便性のみである。

これに対して、統一教会における集團見合、集團結婚には、この集團を支える聖書の新解釈に基づく教理上の必然性、及びこの欲望無限大時代に息を吐いている我々俗物の欲望と大症患者の項ではとうてい理解不可能な程厳格な禁欲生活、即ち入信後三年以内は結婚しないという自発的規律が、事実上一九七〇年以來初めて公的にしかも瞬間的に解散される年がたまたま今年に当たった為に時間的に集中し、いわば結果論としてこの様な形式がとられ、恐らくは今後も続くのではないかと考えられる。

ここで、今日の日本では公認されている結婚様態を瞥見しておこう。最も伝統的なものからみれば、(一)氏族媒介結婚、(二)地縁結婚、(三)職場結婚、

(四)学生結婚、(五)フリーセックスの五様態が考えられ、三番目以後は主として戦後勃興したものであることは周知の通りである。そしてこの数字の下降は時代的下降カーブと一致し、今回問題になった肉親の反対ないしは懷疑意識の上昇カーブとはほぼ対照的カーブを描くであろう。

私の見る所、今日の青年男女の大半は職場や学園を舞臺にして親の知らない間に結婚し、受胎し、墮胎し、離婚するという愛の一サイクルを繰り返して繰り返した果に、外見には職場の上司や学園の仲間と祝福されるという偽善に満ちた内情に充たされた結婚式をすることによって上手に親の目をごまかしているのである。この恐るべきフリーセックスという非人間的、動物的法則に一貫された現実の生感に比較する時、私は統一教会の諸君のこの度の行動を、宗教的な一種の羨望とまじり、昆蟲の世に汚れることなく咲く一輪の花に比喩する一つの美への情念を否定することができない。

第三点についてみれば、統一教会の諸君が度々強調しているという願望を抱くのは、いわばキリスト教徒が聖地エルサレムで、登山家が山で、氏族媒介結婚者が郷里で葬式したいという願望を抱くのと同質である。現代こそ華屋にときめくタレント達が何の必然性もなく、外国の教会で葬式をしたり、大衆が唯物的利便性のみを追求して皆々公民館やホテルでの葬式に比較すれば、その宗教的、精神的、倫理的意義は詳論するまでもなからう。

第四点についてみれば、職場結婚で上司と、学園結婚で教授に、氏族媒介結婚で実長にインスタント中人を依頼して、奇いカップルの到来に対して唯物的、世俗的利益を期待するよりも、あるいは教

に増中し、人間に内在する抑えても抑えてもフツフツと燃え上る肉欲の欲望との未来永劫に亘る闘争の修練期間の役割をも果たしているようである。例えば、私はかつて大学の教師であったから、その立場において頻見した一例を挙げれば、私の友人達の多くは結婚後、学問修業の為に愛妻を日本に残して三年又は五年の長期間留学することがしばしばであった。いうまでもなく、学問は肉体的欲求よりも精神的欲求に基づくものであるから、統一原理の諸君の生活態度は学問の場合よりも更に容易に理解できる。

更には、唯物的欲望追求者の典型である大企業のエリートサラリーマンの生感を見よ。いわゆるサッチョンとかハカチオンとか称する種族は、企業の他律的命命に服従して愛しい妻を故郷に残してあるいは最端のサッチョンやハカチ

に單身就任するではないか。まして唯心的禁欲主義者においておや。今回生じた法難の、世間の目に映った異常性も、このように日本精神史という歴史の中で科学的に果して統一原理の諸君であるのか我々であるのか、はなはだ怪ぶさに調査した今の私は、己の物欲性の強度に更めておののいて、このことを正直に告白しておこう。

最後に、哲學的関心のある理由の一端を述べておこう。私の専門は東洋哲學—それも中国の朱子學と陽明學すなわちネオ・コンファューシヤニズム及び日本の生んだ唯一の哲人と尊崇されている三浦梅園の哲學である。ネオ・コンファューシヤニズムとは孔子や孟子を中核とした旧儒教をコンファューシヤニズムと称するのに対して経書の新解釈を媒介に勃興した新

儒教の呼称であるが、この点からみれば、既成のキリスト教をクリスチヤニティと称するのに対して統一原理はネオ・クレステチヤニティとも称して良いのではないかと考えられる節が多々認められるのである。そして、私の関心はこのネオ性に集中しているのである。

三浦梅園の哲學に関しては拙著『日本の思想18—三浦梅園—』（筑摩書房）等を参照されたい。そして同時に『統一思想要綱』と比較参照していただきたい。私は三浦梅園の哲學を二十一世紀の哲學と秘かに考えているのであるが、湯川秀樹氏が『三浦梅園』（NHK日本史探訪シリーズ—角川書店）をもにされ、古在由重氏が各論文『和魂論ノート』に於て、梅本克己氏が『形而上學の批判と認識論について』（共に岩波書店刊『講座哲學』所収）に於て、司馬遼太郎氏が『週刊朝日』誌上の江

崎レオナ氏との対談の中で異常な関心を払っていることからも明らかで、三浦梅園の哲學は今や左右のセクトを超えて、本格的な日本の知識人の関心の的となっている。

そこで私はこの柔軟な頭脳群が統一原理にも関心を抱かれんことを心から願っている。知的冒険者たる哲学者であれば一定の安定的な評価が下される以前に、この集團の将来に具象化するであろう歴史的に成功不成功のいかんを問わず真面目なインテリ青年男女の魂を瞬間にして奪う教化力を保有する恐るべき宗教—哲學体系にチャレンジして欲しいものである。

一九七五年一月二十八日

哲学者 高橋正和
「梅園研究会主宰・哲学者・元別府大助教授・ペンネーム不上図人」

に増中し、人間に内在する抑えても抑えてもフツフツと燃え上る肉欲の欲望との未来永劫に亘る闘争の修練期間の役割をも果たしているようである。例えば、私はかつて大学の教師であったから、その立場において頻見した一例を挙げれば、私の友人達の多くは結婚後、学問修業の為に愛妻を日本に残して三年又は五年の長期間留学することがしばしばであった。いうまでもなく、学問は肉体的欲求よりも精神的欲求に基づくものであるから、統一原理の諸君の生活態度は学問の場合よりも更に容易に理解できる。

更には、唯物的欲望追求者の典型である大企業のエリートサラリーマンの生感を見よ。いわゆるサッチョンとかハカチオンとか称する種族は、企業の他律的命命に服従して愛しい妻を故郷に残してあるいは最端のサッチョンやハカチ



Eines von 1800 strahlenden Paaren bei der Massenhochzeit von Seoul (links). Der Gründer der „Heilig-Geist-Gesellschaft“, Sun Myung Moon, mit Krone und goldbesticktem Meßgewand, wurde von seinen Anhängern vor Beginn der Trauungszeremonie herzlich begrüßt (oben).

Das Millionen- geschäft mit dem Hochzeits- glück

„Schwört ihr alle vor Gott, daß ihr auf ewig Mann und Frau sein werdet?“ sprach Reverend Sun Myung Moon mit erhobener Stimme ins Mikrofon. 1800 Paare, die geduldig einer zweieinhalbstündigen Zeremonie in einer Turnhalle in der südkoreanischen Hauptstadt Seoul beige-wohnt hatten, antworteten im Chor: „Wir schwören!“

Durch die Massenhochzeit, wohl die größte in der Geschichte der letzten Jahrzehnte, machte wieder einmal eine höchst eigenartige Sekte von sich reden: die

Fortsetzung auf Seite 107



Dicht an dicht warteten die Hochzeitspaare in einer riesigen, geschmückten Turnhalle in Seoul darauf...



Reverend Moon getraut zu werden. Die meisten stammten aus Südkorea und Japan, doch auch Europa war vertreten.



Fast eine Stunde lang zogen Paare durch das große Tor des Sportgeländes. Es war die siebente Massentrauung der Sekte.

In Japan protestierten 500 Eltern gegen die Tätigkeit der Sekte

Fortsetzung von Seite 12

„Heilig-Geist-Gesellschaft zur Vereinigung der Weltchristenheit“. Ihr Gründer ist der 55jährige Reverend Moon.

Nach eigenen Angaben hat die Glaubensgemeinschaft rund eine Million Mitglieder in aller Welt. Diese Zahl dürfte zu hoch gegriffen sein. Doch sicher ist, daß die Gesellschaft in Japan rund 200 000 Anhänger zählt, in den USA etwa 6000 und in der Bundesrepublik Deutschland immerhin 1000.

Die Sekte vermehrt sich nach einem raffiniert ausgeklügelten Schneeballsystem. Da als höchstes Sakrament die Ehe gilt, trachten die, vorwiegend jungen, Gläubigen, so rasch wie möglich zu heiraten. Das dürfen sie jedoch erst, wenn sie mindestens drei Menschen zur „Heilig-Geist-Gesellschaft“ bekehrt haben. Man kann sich unschwer vorstellen, mit welchem missionarischem Eifer die Heiratswilligen ans Werk gehen.

Ein Leben in Luxus

Neue Mitglieder bringen nicht nur ihre Seelen in die Sekte ein, sondern meist auch ihr Geld. Zu welchen Zwecken die nicht unbedeutlichen Summen verwendet werden, ist nicht bekannt.

Bekannt hingegen ist, daß der Sektengründer, Sun Myung Moon, ein Leben in Luxus führt. Er bewohnt in Barrytown, USA, ein herrliches Haus, ist Besitzer einer Yacht, eines Privatflugzeuges und eines ansehnlichen Vermögens. Zu Fahrten

über Land benutzt er einen Straßenkreuzer Marke Lincoln mit kugelsicheren Scheiben. Stets wird er von Leibwächtern begleitet.

Nicht überall findet Reverend Moons seelsorgerisches Wirken die Anerkennung, die es nach Meinung seiner Anhänger verdient. In manchen Ländern haben sich regelrechte Schutzgemeinschaften gegen die Sekte gebildet, so etwa in Frankreich die „Vereinigung zum Schutz der Familie und des Individuums“. Ihr Vorsitzender, der Arzt Guy Champollion, hat selbst schlimme Erfahrungen mit der neuen Religionsgemeinschaft gemacht: Sein eigener Sohn ist unter den Bekehrten.

Im besonders betroffenen Japan haben sich 500 Eltern von jungen Sektensbrüdern zusammengeschlossen und energische Maßnahmen gegen den ihrer Meinung nach üblen Einfluß des Reverend Moon angekündigt. Sie wollen so lange gegen die „Heilig-Geist-Gesellschaft“ kämpfen, bis ihre Kinder – so der Wortlaut eines Protestschreibens – „zu einem normalen sozialen Leben zurückgekehrt“ sind.

In den Vereinigten Staaten sah sich mittlerweile sogar die Regierung genötigt, die neue Religion unter die Lupe zu nehmen. Eine Bundesbehörde wurde beauftragt, die Tätigkeit der Gesellschaft zu überprüfen. Noch radikaler reagierten die Österreicher. Hier wurde die „Heilig-Geist-Gesellschaft“ kurzerhand verboten und aufgelöst.

GUNTER GROSSENBERGER

Indonesia



PERKAWINAN MASSAL DI SEOUL. 1800 pasangan dari 21 Negara tanggal 8 Februari yl. secara massal telah dikawin di kota Seoul bertempat di gedung Olahraga Chanchung, Seoul. Mereka itu, adalah 900 pasang dari mazhab Kristen Korea (Orang Korea), 800 pasang datang dari Jepang dan pasangan selebihnya datang dari Amerika dan Eropah. Upacara perkawinan massal semacam itu sudah merupakan yang ke-7 kalinya berlangsung di Korea di laksanakan oleh sekte Unification Church. Perkawinan itu adalah satu diantara prinsip mazhab itu bahwa hubungan sek diluar nikah, merupakan kejahatan dunia terbesar. Pada gambar tampak saat berlangsungnya upacara perkawinan itu.-(Antara/UPI).-

POS SORE Monday February 10, 1975



Sejumlah 1.800 pasang penganten dan sekitar 20 negara diresmikan dalam sebuah upacara perkawinan terbesar di Changching Gymnasium, Seoul, Korea Selatan.

PELITA Monday February 10, 1975

THE INDONESIA TIMES

DJAKARTA Wednesday March 19, 1975

The Rev. Sun Moon Causes a Storm in Japan

By Derek Lyons

A religious sect started in 1954 by a Korean recently staged a mass wedding for 1801 young couples from many countries. Eight hundred of them were Japanese and there were ugly scenes at Tokyo Airport as parents tried to restrain their young people from catching a plane to Seoul, South Korea, where the ceremony was held. The sect claims to have 2,000,000 followers in 43 nations.

Little was known in Japan of the Unification Church until the sect promoted a demonstration of so-called international unity recently by staging a mass wedding for 1,801 young couples in Seoul South Korea.

Some of the couples hardly knew each other before the ceremony. And some had their partners chosen for them by the sect's Korean founder, the Rev. Sun Myung Moon, it is alleged.

The participants came from many nations in Europe and Asia and eight hundred couples journeyed from Japan for the ceremony. There had been angry scenes at Tokyo International Airport as some parents tried forcibly to restrain their children—the sect claims that all were over 21—from leaving.

The Reverend Reiner Vincenz

German, and a senior member of the sect defended the eddings.

He said that it was possible some of the participants hardly knew one another in the conventional sense. But if two people really knew God, then they would soon learn to love one another.

He added that the weddings had been perfectly legitimate and were solemnised under Korean law. Official documents of the couples—such as passports—that required to be amended had been so dealt with.

Vincenz, who is leading a group of 360 young people from 25 nations on a current international crusade, said the party would be visiting the Republic of Korea, Taiwan, England, France, Italy, Germany and the Netherlands after touring the main cities

of Japan.

Many of its young and most active members have come to Japan on an all-expenses-paid tour from their homes in Europe.

Miss Annemarie Manke, 24; from Frankfurt; West Germany; is a former Lutheran but now an enthusiastic member of the sect's crusaders. Her parents, had been understanding, she said.

She described the wedding in Seoul as the most radiant, moving thing she had ever seen.

"There were all these people from all different nations vowing to love one another", she said. It was precisely in keeping with the basic spirit of the movement which sought to unify the world under one God, she added.

As Vincenz put it, "These young people feel this world is physically near burning. They want to put their personal lives a little to one side. That is why they become missionaries for the (Unification) church and do the things they do".

The sect was started in 1954 and today is said to have a worldwide membership of two million people in 43 nations. In the United States alone there are reportedly 10,000 active members and 25,000 supporters.

The Rev. Sun Myung Moon, a former North Korean who now lives in South Korea, was once a student at Japan's Waseda University, where he studied electrical engineering.

Outwardly, he looks more like a successful businessman than a minister. He speaks in Korean, bouncing up and down to emphasise his message which is simultaneously translated into English by his aide, Colonel Bo Hi Pak.

Young people, impressionable and lost in a world that is neither of their choosing nor to their liking, are easy prey to any movement that seems to offer a convincing way out. The sect's mass meetings have all the trappings of evangelism bordering on hysteria.

I witnessed one such meeting in Tokyo. Held in one of the city's biggest public halls,

the massive, octagonal-shaped Budokan, the audience listened to crusade songs by a chorus of fresh-faced young men and women and watched a troupe of Korean girl dancers.

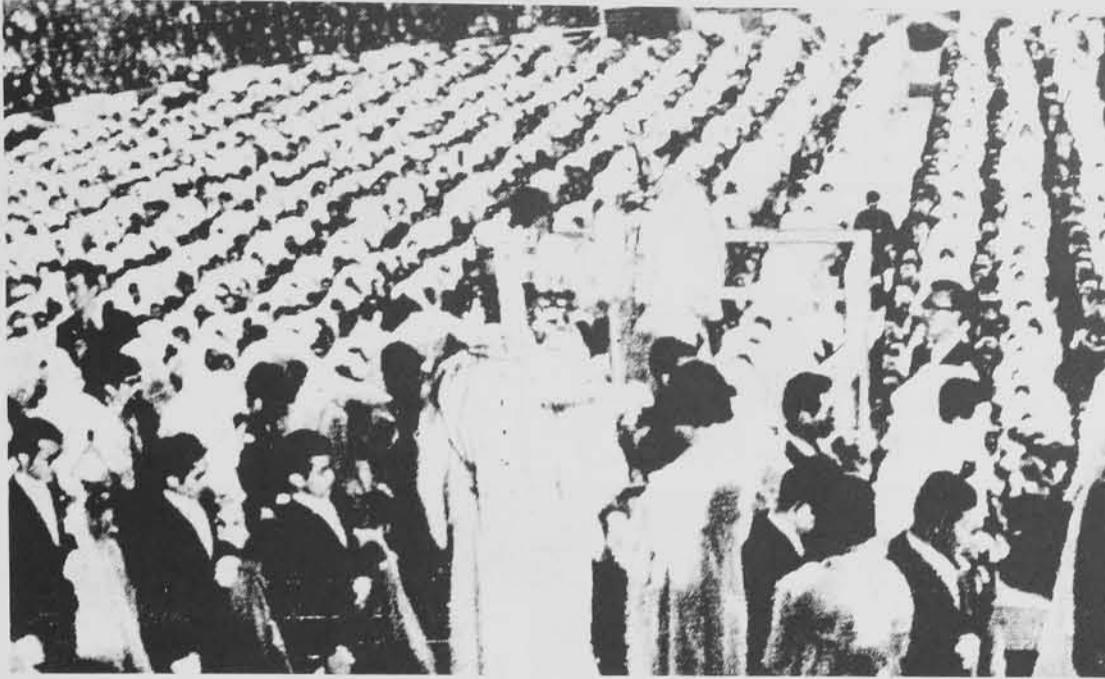
There followed a trio singing a cowboy ballad recommending world and Christian unity, and a film showing the sect's recent tour of the United States which included a mass meeting in Madison Square Garden, New York.

Admission was free, but the sect clearly has massive funds at its disposal.

There is said to be no compulsion about contributions from members, but one girl told me she gave 10 per cent of her salary to the movement every month.

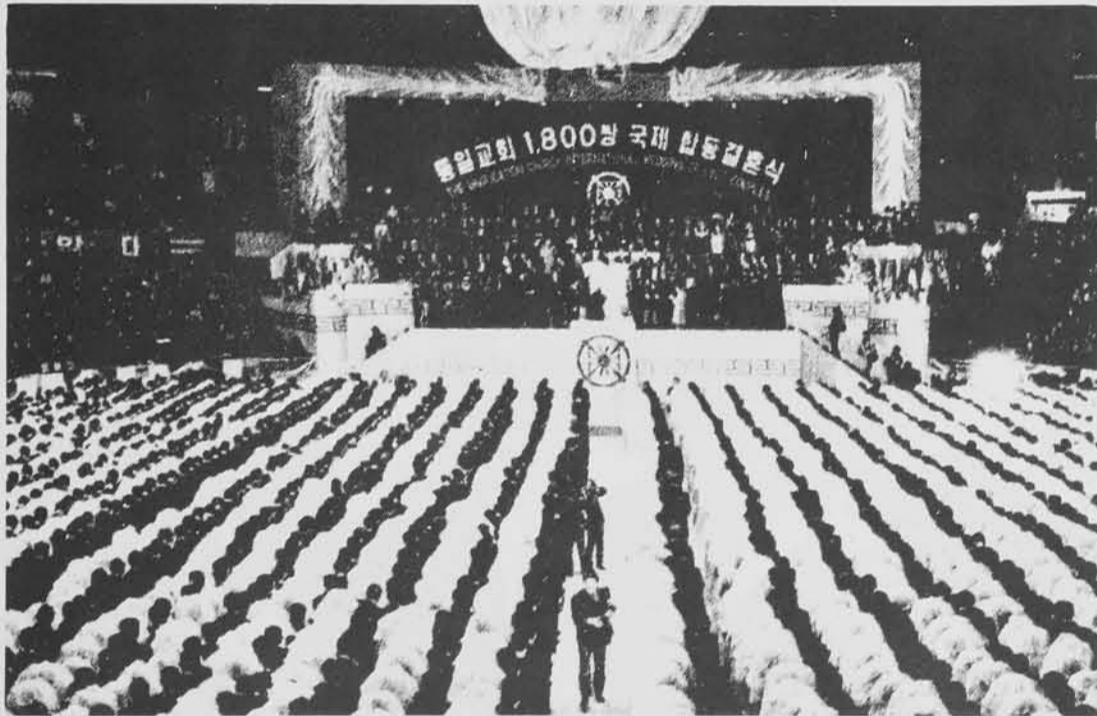
For its current world tour, it is ferrying its 360-strong evangelistic party in a chartered Boeing 747, and another plane has had to be chartered to convey all the baggage.

Vincenz said that the members' fares had been paid by the sect. He thought the reception they had had in Japan had been very good.



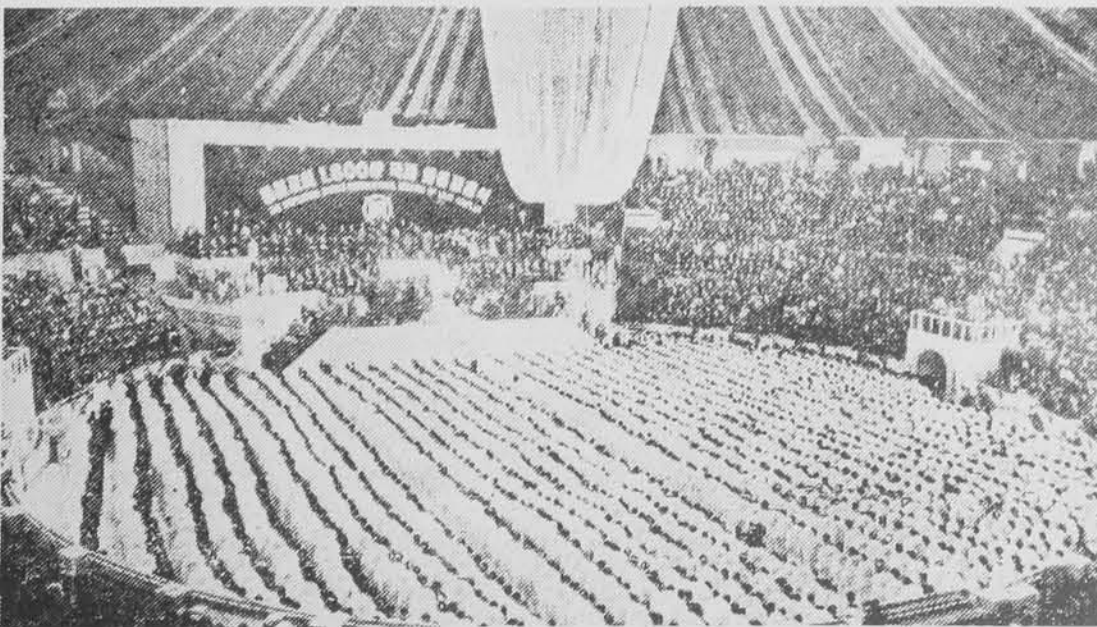
Suatu upacara nikah massal telah dilakukan hari Sabtu di Seoul, oleh pendeta „agama Kristen Baru”, Moon Sun-Myung. 1800 pasang pengantin, 891 orang Korea, 799 orang Jepang 70 orang AS, dan orang-orang lain dari Inggris, Perancis, Belanda, Italia, Austria, Taiwan, Kanada, Brasilia, Argentina, Swiss, Irlandia, Swedia, Norwegia, Belgia, Australia dan Trinidad ikut dinikahkan dalam upacara yang untuk kedua kalinya terjadi di Seoul. Yang pertama kali tahun yang lalu.

KOMPAS Monday February 10, 1975



PERKAWINAN MASAL. Suatu upacara perkawinan internasional secara massal terdiri dari 1.800 pasang mempelai dari 21 negara, telah dilangsungkan hari Sabtu digedung Changchung Seoul. (UPI/ANT.)

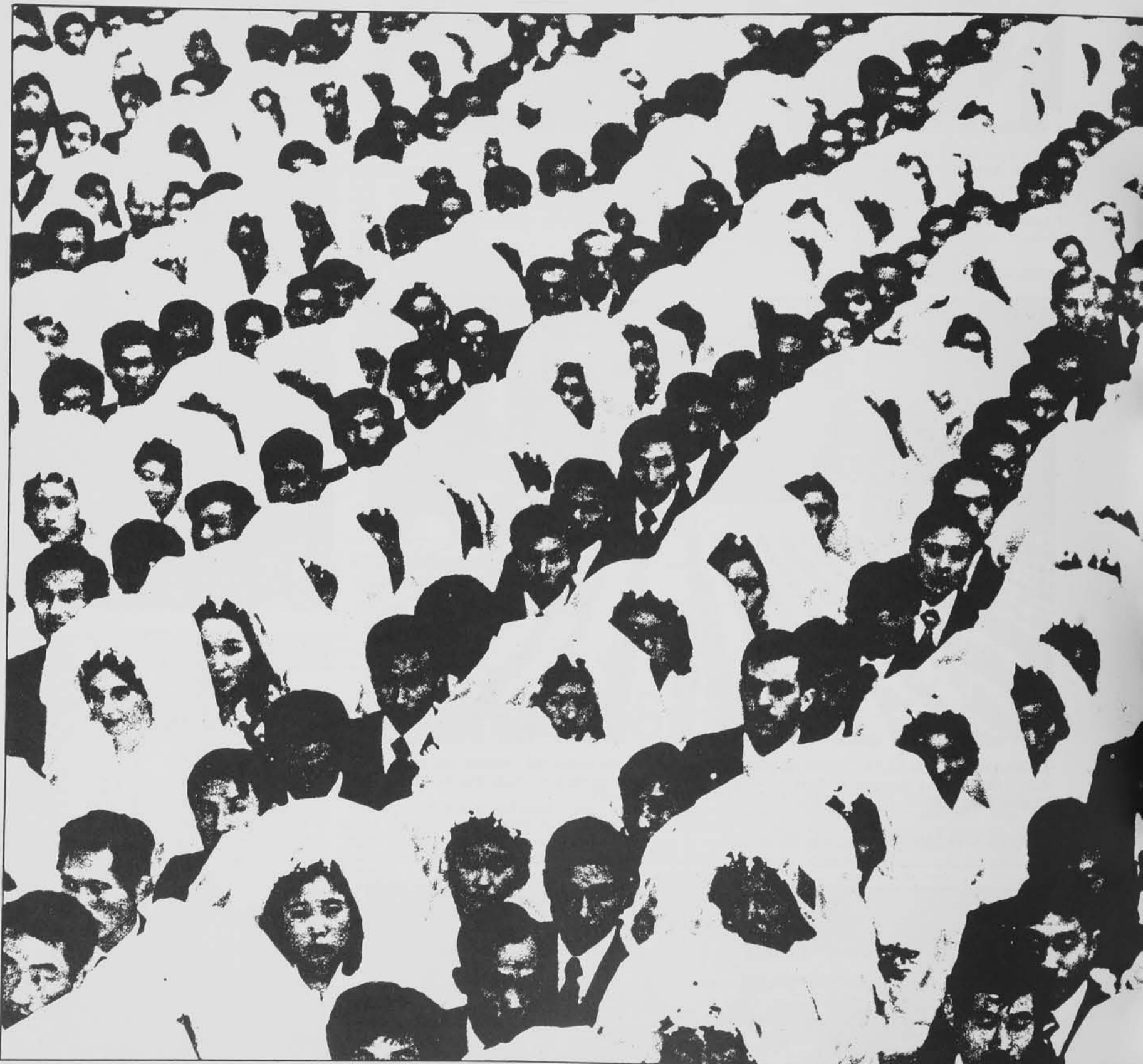
CAHAYA KITA Monday February 10, 1975



Brides and grooms fill the Changchung Gymnasium, Seoul's biggest, with 8,500 spectators seated, at a massive international joint wedding ceremony for 1,801 couples from 20 countries organized by the Holy Spirit Association for the Unification of World Christianity yesterday.



Moon le dieu vivant coréen
a marié d'un coup
1.800 couples
selon son caprice.
Des parents français
s'émeuvent
Page 64



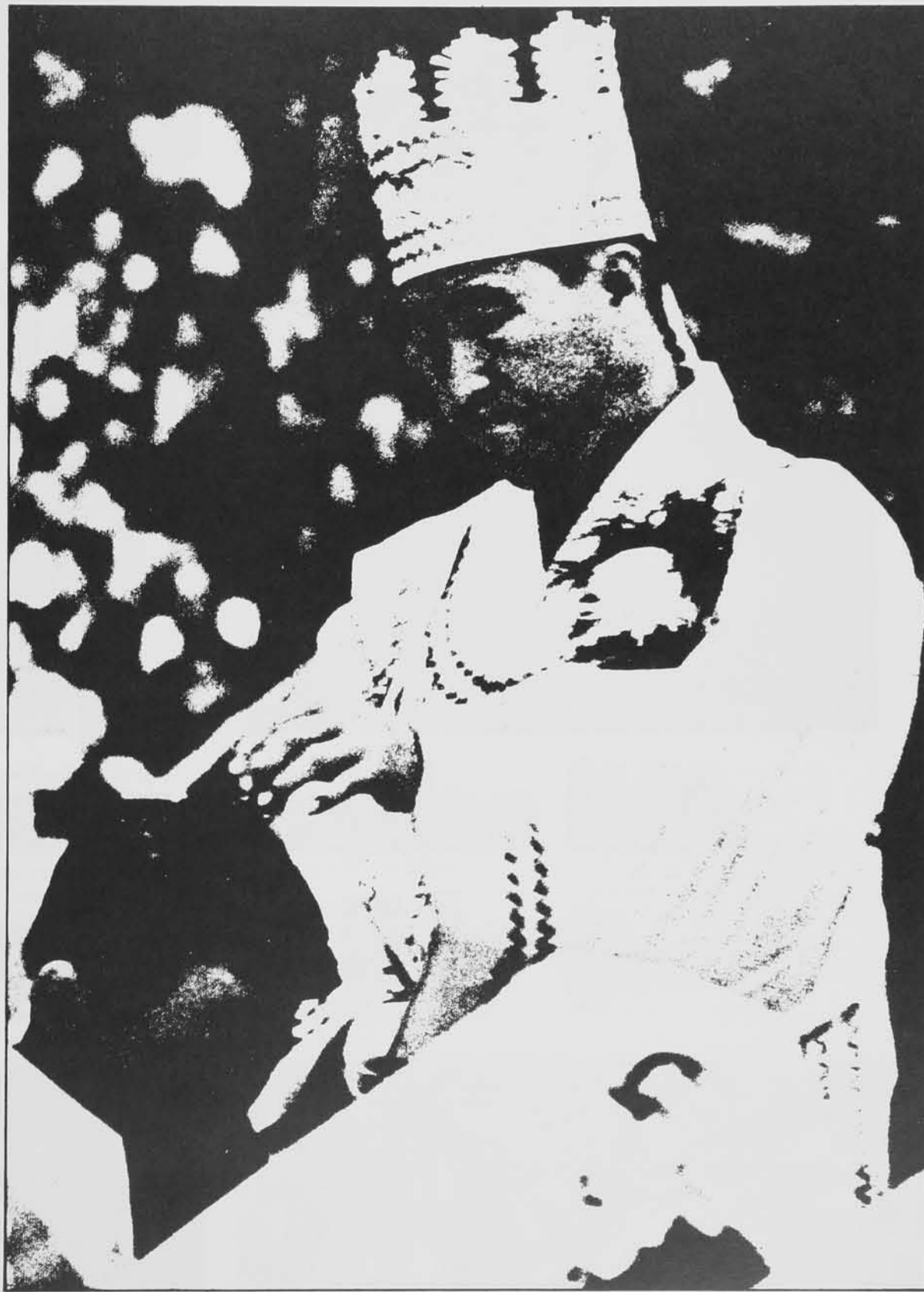
Mariage collectif à Séoul (Corée du Sud) pour 1 800 couples, disciples du dieu. C'est lui qui a apparié les fiancés en les sélectionnant d'après fiches et photos.

LE DIEU MOON NOUS ARRACHE NOS ENFANTS

Une nouvelle religion, avec un nouvel homme-dieu, venue d'Extrême-Orient recrute dans tous les pays de l'Occident: quatre cents jeunes Français ont été enlevés à leurs parents, dont beaucoup aujourd'hui ont décidé de porter plainte...



cadeau nuptial : sa bénédiction (photo de droite).



Sun Myung Moon, 54 ans, vit en milliardaire aux Etats-Unis et roule en voiture blindée.



Rennes, le docteur Champollion (à droite) organise les parents des « disparus » en comité de défense.

● « Si vous pensez que l'amour est la plus grande valeur, venez. » Si l'on vous remet ce prospectus, un bon conseil : méfiez-vous ! Ceux qui le distribuent dans nos rues se déclarant « les pionniers du Nouvel Age » sont les militants-racoleurs de la secte de Sun Myung Moon, un Coréen du Nord de 54 ans, qui se prétend le fils spirituel de Dieu, auteur d'une nouvelle bible, « les Principes divins », fondateur de l'Eglise de l'Unification, en 1954, à la suite d'une apparition nocturne du Christ. Ce nouveau Rédempteur jaune, qui vit aux

Colombia

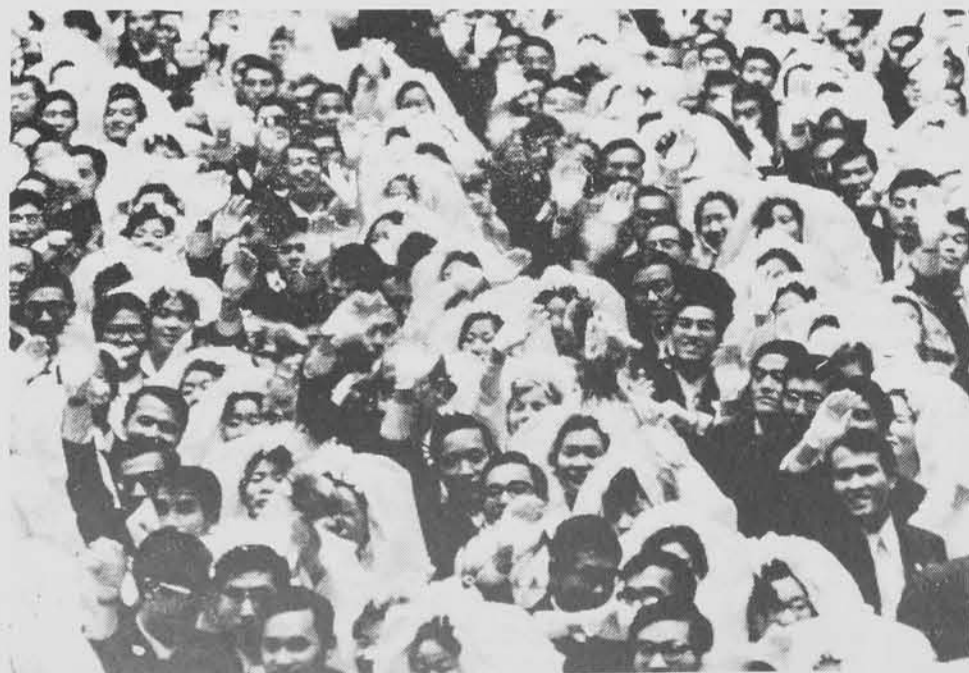
BOGOTA MAGAZINE, COLUMBIA

Una de las parejas que acaba de contraer matrimonio durante la boda colectiva organizada por el Reverendo Sun Myng Moon.



Mil ochocientas parejas y el Reverendo Moon

Texto: Agencia Gamma
Fotos: Jungkwanchi



Con un gesto de aprobación, como lo demuestra la mano en alto, los novios dan el sí durante la boda colectiva de la Asociación del Espíritu Santo para la Unificación del Mundo Cristiano.



El Reverendo Sun Myng Moon, fundador de la Asociación del Espíritu Santo para la Unificación del Mundo Cristiano, presidió la ceremonia religiosa en el Estadio Municipal de Seúl, Corea del Sur.



Mil ochocientas parejas se acababan de casar en Seúl, Corea del Sur, en lo que ha constituido quizá la boda colectiva más grande del mundo. Cómo sería que la ceremonia se efectuó en un estadio porque la catedral era demasiado pequeña.

Los 3.600 jóvenes contrayentes pertenecen a la secta religiosa denominada

Asociación del Espíritu Santo para la Unificación del Mundo Cristiano. Esta secta tiene en el Japón unos 200.000 afiliados y en el mundo unos dos millones, según lo ha manifestado su fundador, el Reverendo Sun Myng Moon.

La mayor parte de los nuevos maridos y esposas sólo se conoció dos semanas antes

3.600 jóvenes procedentes de 19 países se dieron cita en Seúl para contraer matrimonio.

Las parejas intercambian argollas en una de las bodas colectivas más numerosas del mundo.

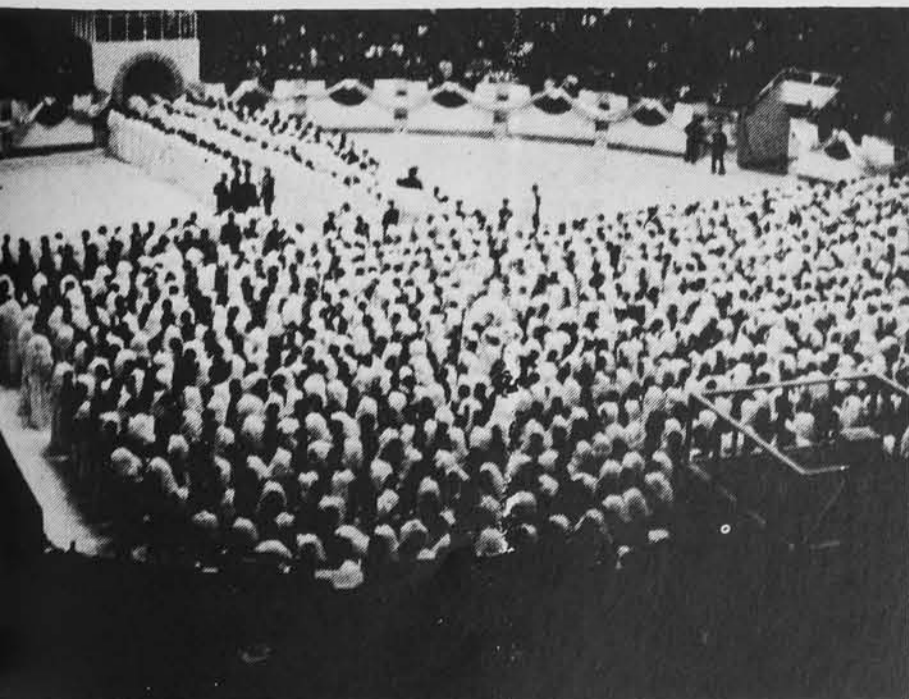


de la boda, durante los arreglos. Por ejemplo, uno de los contrayentes, Nobuko Hoari, envió su fotografía al Reverendo Moon y a la hoy su esposa le gustó.

La secta se opone a sistemas doctrinarios como socialismo, comunismo y obviamente, al ateísmo. Únicamente busca la unión de

todo el pueblo cristiano y una de las formas de conseguirla es por medio del matrimonio.

Después de esta espectacular boda colectiva —en la cual 800 parejas procedían del Japón— muchos han comenzado a preguntarse si la Iglesia de Unificación se ha convertido en la agencia matrimonial más importante del mundo. □



La boda más espectacular del mundo tiene lugar en el Estadio Municipal de Seúl como un esfuerzo para unificar la cristiandad.



Terminada la ceremonia, los nuevos esposos se dirigen hacia el banquete colectivo.

Germany

In Zusammen-
arbeit mit:

IOWC
International
One World Crusade

ICF
International
Cultural Foundation

CARP
Collegiate
Association for the
Research of Principles

Auflage: 80 000 Exemplare

Vertriebskennzeichen: 1 Y 22180 E

Eine Welt

ZEITUNG DER GESELLSCHAFT ZUR VEREINIGUNG DES WELTCHRISTENTUMS E.V.



„... die neue Hoffnung
für das Christentum“

März 1975

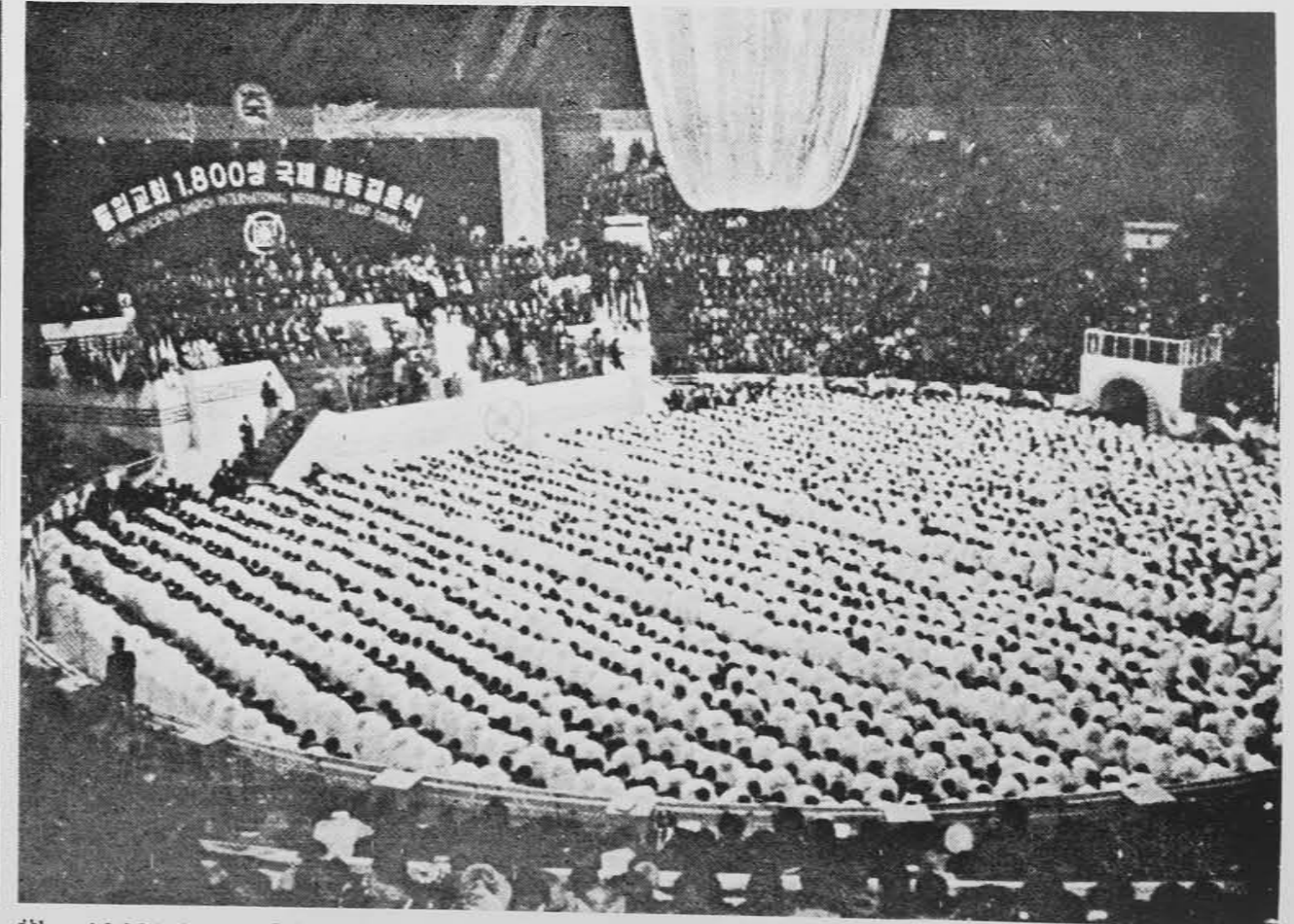
UNIFICATION CHURCH INTERNATIONAL

2. Jahrgang – Nummer 3

David, wo bist du? SEITE 3



Rev. San Myung Mun und seine Gattin während des Gebetes



Über 10 000 Gäste erlebten die größte Hochzeit in der Geschichte der Menschheit

Internationale Hochzeit von 1800 Paaren in Korea

UNIFICATION CHURCH VERANSTALTETE DIE GROSSTE HOCHZEIT DER MENSCHHEITSGESCHICHTE

Seoul/Korea. Am 8. Februar veranstaltete die Unification Church (Vereinigungskirche) die größte Hochzeit in der Geschichte der Menschheit. Rev. San Myung Mun traute 1800 Paare aus 20 Nationen in Seouls größter Halle, dem Chang Chung-Auditorium. 10000 Gäste waren während der 3-stündigen Zeremonie in der Halle anwesend.

Das Ereignis erscheint ungewöhnlich. Stark beachtet auf der publizistischen Bühne der westlichen Welt, stieß es neben begeisterter Zustimmung auch auf ein gewisses Befremden. In der Tat handelt es sich hier um die größte Hochzeit in der menschlichen Geschichte.

Weithin sichtbar wehte, von zwei Fesselballons getragen, über der Festhalle eine riesige Fahne mit dem Symbol der Unification Church. Über 50 prächtige Blumenkränze, gestiftet von Ministern der Regierung, vom Bürgermeister der Stadt und anderen hohen Persönlichkeiten, säumten das Portal. Darüber wurde in mannshohen farbigen Lettern verkündet: „Internationale Hochzeit von 1800 Paaren der Vereinigungskirche am 8. 2. 1975, 10 Uhr“. Seit dem frühen Morgen riß der Zustrom von Neugierigen nicht ab.

In eindrucksvollen weißen Gewändern und mit weißen Kronen auf den Häuptern, zelebrierten

Rev. San Myung Mun und seine Gattin die Eheschließungen. Nach dem Eröffnungsgebet besprengten sie die eintretenden Brautpaare mit heiligem Wasser. Mit einem gemeinsamen „Ja“ antworteten die 1800 Paare auf die Fragen von Rev. Mun und gelobten vor Gott ewige Partnerschaft.

Alle Bräute trugen das traditionelle koreanische „Chima und Chogori“. Weiße Schleier verdeckten ihre unterschiedlichen Nationalitäten, während die Herren in dunklen Anzügen gekleidet waren.

In seiner Gratulationsansprache hob der Minister für Wiedervereinigung, Herr Do Fung Shin, die weltweiten Verdienste der Unification Church hervor. Er sagte: „Die Unification Church hat sich zum Ziel gesetzt, die Probleme der heutigen Zeit zu lösen. Dies ist nur mit der Hilfe Gottes möglich. Rev. San Myung Mun ist ein Mann Gottes. Er bringt durch die Vereinigungskirche eine große Hoffnung für die Welt.“ Im Anschluß daran sprach der Direktor der japanischen P.W.A. (Professors World Peace Academie), Herr Duk Sin Choi.

Ein dreifaches „Mansei“ mit dichtem Konfettiregen beendete dieses historische Ereignis. Vor den Toren warteten etwa 100 mit Transparenten geschmückte Busse, um die frisch vermählten Paare zu einer ausgiebigen Besichtigungsfahrt einzuladen.



Ein amerikanisch-norwegisches Paar beim Austausch der Ringe

Es war die siebte Hochzeit, die in dieser Art von der Unification Church veranstaltet wurde. Im Oktober 1970 heirateten in ähnlicher Weise 777 Paare aus aller Welt.

Eine Festschrift der Vereinigungskirche informierte über die Bedeutung dieser Hochzeit:

Als Gott die Vorfahren der Menschheit, Adam und Eva, schuf, segnete er sie und sagte zu ihnen: „Seid fruchtbar und mehret euch und füllet die Erde . . .“. Wenn Adam und Eva in Übereinstimmung mit Gottes Willen gelebt hätten, wären sie der Beginn einer vollkommen guten, auf Gott ausgerichteten Menschheit geworden. Durch den Fall der menschlichen Vorfahren entstand statt dessen eine Gesellschaft der Sünde und des Leides.

Alle etablierten Religionen sind nun der Auffassung, daß der Zweck der Religion die individuelle Erlösung sei. Im Gegensatz dazu behaupten wir von der Vereinigungskirche, daß das Ziel des Erlösungswerkes Gottes, die Wiederherstellung einer wahren, auf Gott ausgerichteten Familie ist, die das Fundament für eine Welt des Guten bildet.

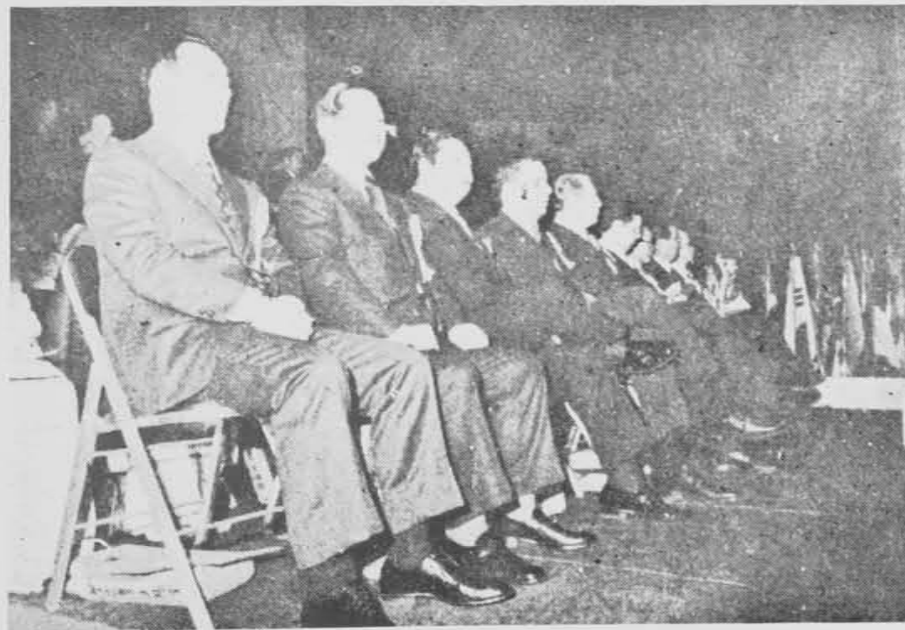


Bild links: Führende Persönlichkeiten der Vereinigungskirche waren zu Gast (v. l. n. r.): Mr. Young Whi Kim, Präsident der Internationalen Vereinigungskirche; Mr. Won Pil Kim, Ökonomie-Direktor; Mr. Osami Kuboki, Präsident der Vereinigungskirche von Japan; Mr. Neil A. Salonen, Präsident der Vereinigungskirche von Amerika; Rev. Paul Werner, Präsident der Vereinigungskirche von Deutschland.

Bild Mitte: Mr. Duk Sin Choi, Direktor der japanischen Professors World Peace Academie. Rechts: Mr. Do Fung Shin, Minister für Wiedervereinigung Koreas

FORTSETZUNG NÄCHSTE SEITE



Ecco un gruppo dei duemila sposi durante la cerimonia



LA PIU' GRANDE CERIMONIA DI NOZZE CHE SIA MAI STATA CELEBRATA

Seul, marzo
 Circa duemila giovani di ambo i sessi, seguaci di una setta religiosa, si sono uniti in matrimonio tutti insieme e con un'unica cerimonia, in una palestra municipale di Seul nel corso di quella che si ritiene sia stata la più grande cerimonia di nozze mai celebrata.

Le coppie si sono incontrate durante un periodo di esercizi spirituali che sono durati due settimane, nel corso dei quali sono stati presentati l'uno all'altra, in molti casi per la prima volta; giovani insomma che non si conoscevano e che hanno fatto tutto alla svelta: due settimane di fidanzamento, poi matrimonio. Ma c'è un particolare curioso in questi matrimoni: su-

bito dopo le nozze, le coppie si sono divise, lei da una parte, lui dall'altra, per un periodo di tempo che serve a dar loro maturazione e riflessione.

Per poter partecipare agli esercizi spirituali e ai riti che precedono le nozze, bisogna avere frequentato la setta e svolto attività (convertire minimo tre seguaci) per almeno due anni. Ciascun candidato presenta i nomi di cinque donne che desidererebbe sposare e il capo della setta sceglie le coppie per il fidanzamento. La decisione finale è però lasciata agli stessi fedeli: se dopo due settimane di fidanzamento pensano di non essere fatti l'uno per l'altra possono disdire ogni impegno.

il Giornale ILKVO

Milano, domenica 9 febbraio 1975

Con « quarantena di castità »

Seul: per 1800 coppie matrimonio collettivo

Ben 1.800 coppie sudcoreane e di altri diciannove Paesi si sono unite in matrimonio in una palestra municipale di Seul, nel corso di quella che — vero « primato Guinness » — è certo la più grande cerimonia di nozze che mai sia stata celebrata.

Durante la funzione, durata due ore e mezzo, una banda della polizia municipale di Seul ha eseguito marce nuziali e canzoni popolari. Moon Sun Myung, di 55 anni, fondatore e presidente della setta alla quale appartengono gli sposi (« Associazione dello spirito santo per l'unificazione della cristianità »), è stato l'officiante del rito.

Questo matrimonio di massa è il settimo del genere organizzato dalla Chiesa per l'unificazione, che considera il matrimonio uno dei suoi principali dogmi, e definisce l'adulterio il peggior crimine che esista al mondo.

Le coppie hanno risposto alla domanda loro rivolta dall'officiante: « Giurate davanti a Dio che sarete eternamente marito e moglie? » con un « sì » pronunciato all'unisono.

Al termine delle feste nuziali, che si concluderanno questa sera con una rappresentazione di gala, per i novelli sposi comincerà un periodo di 40 giorni di « celibato » e di missione evangelica.

ROMA

Domenica 9 Febbraio 1975

CELEBRATE IN UNA PALESTRA DI SEUL

Nozze simultanee per 1800 coppie

E' il più grande matrimonio collettivo della storia - Terminata la cerimonia nuziale per i novelli sposi comincerà un periodo di castità di quaranta giorni

(Nostro servizio particolare)

SEUL, 9

Circa milleottocento coppie sudcoreane e di altri diciannove Paesi si sono unite in matrimonio in una palestra municipale di Seul nel corso di quella che si ritiene sia stata la più grande cerimonia di nozze che sia mai stata celebrata.

Durante la cerimonia, durata due ore e mezzo, una banda della Polizia municipale di Seul ha eseguito marce nuziali e canzoni folk. Moon Sun Myung, di cinquantacinque anni, fondatore e presidente della setta alla quale appartengono gli sposi (l'Associazione dello Spirito Santo per l'unificazione della cristianità), ha officiato la cerimonia.

Questo matrimonio di massa, è il settimo del genere organizzato dalla Chiesa per l'unificazione, che considera il matrimonio uno dei suoi principali dogmi e definisce l'adulterio il peggior crimine che esista al mondo.

Le coppie, tra cui millesettecentottantadue coreani e millecinquacentonovantaquattro giapponesi

hanno risposto alla domanda loro rivolta dall'officiante: « Giurate davanti a Dio che sarete eternamente marito e moglie? », con un « Sì » pronunciato all'unisono.

Al termine delle feste nuziali, che si sono concluse con una rappresentazione di gala, per i novelli sposi comincerà un periodo di quaranta giorni di celibato e di missione evangelica.

Le coppie si sono incontrate durante un periodo di esercizi spirituali durati due settimane e nel corso dei quali sono state presentati l'uno all'altra, in molti casi per la prima volta. Solo quanti hanno attivamente partecipato alla vita della setta per almeno due anni e sono riusciti a convertire almeno tre seguaci, possono partecipare agli esercizi spirituali e ai riti che precedono le nozze.

Ciascun candidato presenta i nomi di cinque donne che desidererebbe sposare e Moon Sun Myung sceglie le coppie per il fidanzamento; la decisione finale è però lasciata a ciascuno dei fedeli.

Guyana, England, Australia

GUYANA GRAPHIC

Georgetown, Guyana, South America.

Saturday, February 8, 1975

SEOUL — About 1,800 couples from South Korea and 17 other countries will be married in the municipal gymnasium here today in probably the world's biggest ever mass wedding.

Nine hundred of the couples—belonging to a Korean-based Christian sect—are Koreans and the second biggest group of about 800 comes from Japan, with the rest being Americans and

Europeans.

With some prospective brides and grooms still arriving yesterday, the sect, the Holy Spirit Association for Unification of World Christianity or better known as the Unification Church, could not give the exact number of the couples to be wed or the precise breakdowns of the nationalities involved.

It is the seventh mass wedding

conducted by the Unification Church which regards marriage as one of its major tenets and calls adultery the world's worst crime.

The couples are matched through two-week training rituals during which they are introduced to each other, for the first time in most cases. Only those who have followed the sect for at least two years and won at least three converts, are qualified to take part in

the rituals.

Each candidate submits five names of desirable spouses and the sect's originator—president Moon Sun-Myung, 55, picks couples for engagement. But a final decision is up to individuals.

The post-wedding ritual will be just as rigid. The newly weds are required to start a 40-day period of celibacy after a parade through the city and festivities in the even-

ing.

The Unification Church strives to unify world christianity under the teachings of Mr. Moon and is noted for its strong objection to such ideologies as Socialism and Communism, according to church sources.

The sect claims two million followers, including 380,000 in Korea, 200,000 in the United States and 150,000 in Japan.

—(Reuters).

The London Free Press

TUESDAY, FEBRUARY 11, 1975

Mass wedding held in South Korea

Rev. Sun Myung Moon, founder of the "Unification Church," officiated Saturday at a mass wedding for 1,800 couples from the United States, Japan, Korea and 17 other countries. Ten thousand spectators attended the ceremony in Seoul's Changchung gymnasium. (AP)

THE WEST AUSTRALIAN MONDAY FEBRUARY 10 1975

3600 IN MASS WEDDING

SEOUL, Sun: About 1800 couples from South Korea and 19 other countries exchanged marriage vows in a municipal gymnasium here yesterday in what is believed to be the world's biggest mass wedding.

A 40-piece Seoul City police brass band played wedding marches and folk songs as the couples filed in for the 2½-hour ceremony.

Mr Moon Sun-myung, the 55-year-old founder and president of the sect to which the couples belong—the Holy

Spirit Association for Unification of World Christianity—officiated at the ceremony.

The wedding was the seventh of its kind conducted by the church, which regards marriage as one of its major tenets and calls adultery the world's worst crime.

As the couples left the hall they were showered with confetti from huge balloons.

But that is where the festivities ended and they have begun a 40-day period of celibacy and evangelical work.

The couples are matched through two-week training rituals, during which they are introduced to each other, for the first time in most cases. Only those who have followed the sect for at least two years and have won at least three converts are qualified to take part in the rituals.

Each candidate submits five names of desirable spouses and Mr Moon picks couples for engagement. But the final decision is left to the individuals.—AAP-Reuters.

Daily Chronicle

GUYANA'S NATIONAL NEWSPAPER 12c.

Saturday, February 8, 1975

1,800 weddings today

SEOUL, (Reuter) — About 1,800 couples from South Korea and 17 other

countries will be married in the Municipal Gymnasium here today in probably the world's biggest ever mass wedding.

Nine hundred of the couples — belonging to a Korean-based Christian Sect — are Koreans and the second biggest group of about 800 comes from Japan, with the rest being Americans and Europeans.

With some prospective brides and grooms still arriving yesterday, the Sect, the Holy Spirit Association for Unification of World Christianity or better known as the Unification Church, could not give the exact number of the couples to be wedded or the precise breakdowns of the nationalities involved.

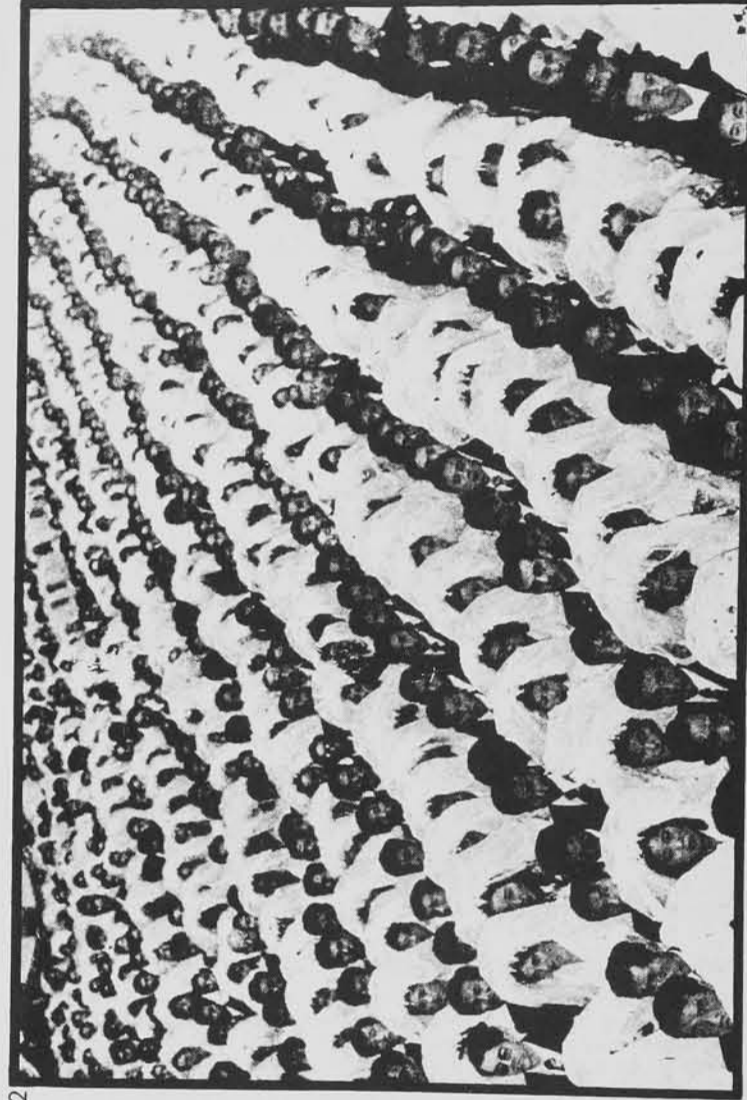
الصفحة ١٠

« النهار »

الروح القدس تزوجوا



الاب المؤسس

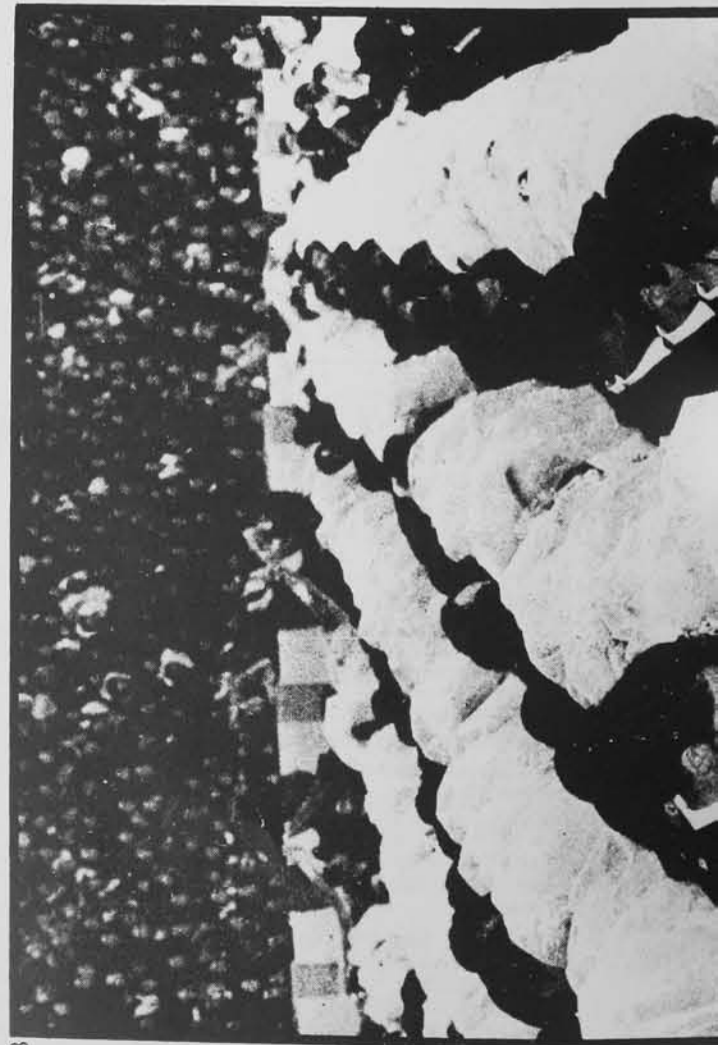


اشقان الشان



٤

كانوا ٣٦٠٠ - ١٨٠٠ ذكر و ١٨٠٠ انثى - زواج جماعي راته عين حتى الان .
 من ١٩ بلدا على اللعب الكبير في سيول ... بين المرسان من لم يكن يعرف شيئاً عن
 الذكور في ثياب قاتية رسمية والاثاث في نصفه الاتي ... لكنه جاء الي سيول واختار
 فساتين بيضاء طويلة تطوها طرحات بيضاء شريكة حياته باسم الروح القدس ...
 وتشكيلات من زهر ...
 ... وتزوجوا !
 باركهم دفعة واحدة الاب سون مينغ مون من قبل كانت ناجحة ولم يسجل فيها طلاق
 مؤسس « جمعية الروح القدس » التي هدفها واحد ...
 جمع المسيحيين في كل أنحاء العالم ، فكان اكبر (التحقيق المصور من « غاما »)



٣

الطبعة ١٨ - ٢ - ١٩٧٥

THE DAY
Beirut, Lebanon
February 18, 1975

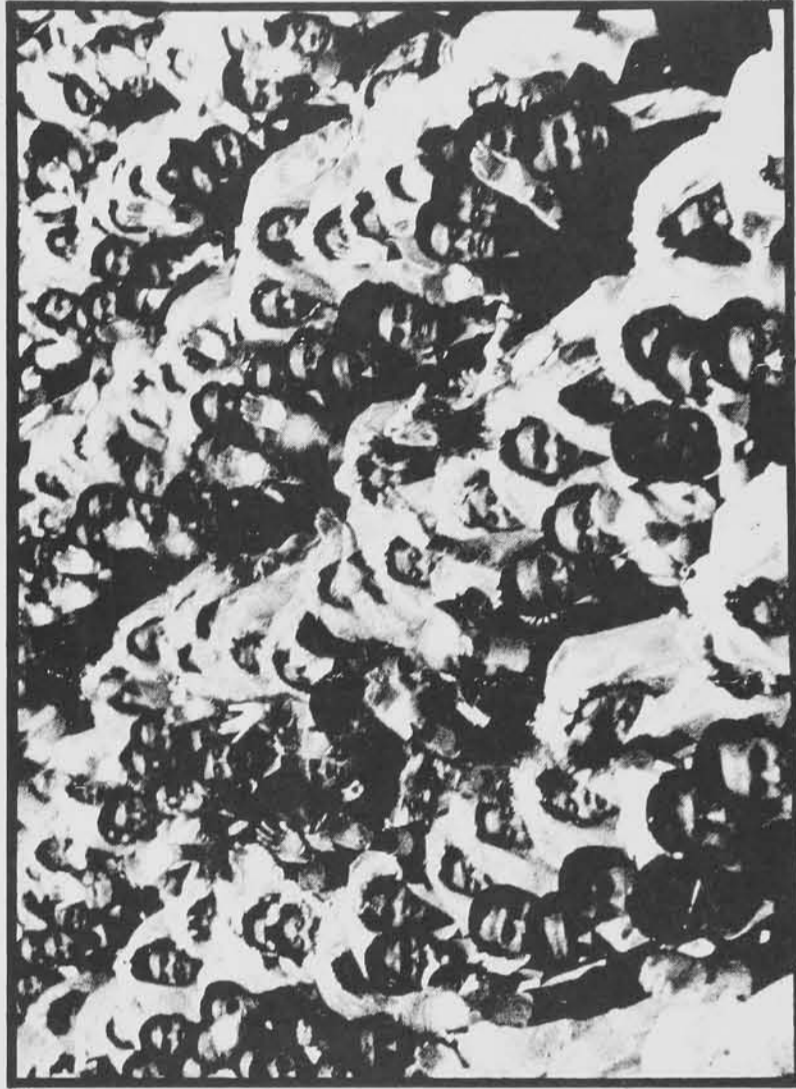
**To Be Wed In The Name of God
and The Holy Spirit**

1,800 couples from 19 countries were married in the largest wedding ceremony ever in Changchung Stadium in Seoul, Korea. There were so many couples one could hardly tell who belonged to whom. All were blessed in the name of God. A lot of flowers adorned the stadium. Rev. Sun Myung Moon proudly states that the marriages he sanctions do not result in divorce. Rev. Moon is founder of the HSA-UWC, an organization which seeks to unite all Christians.

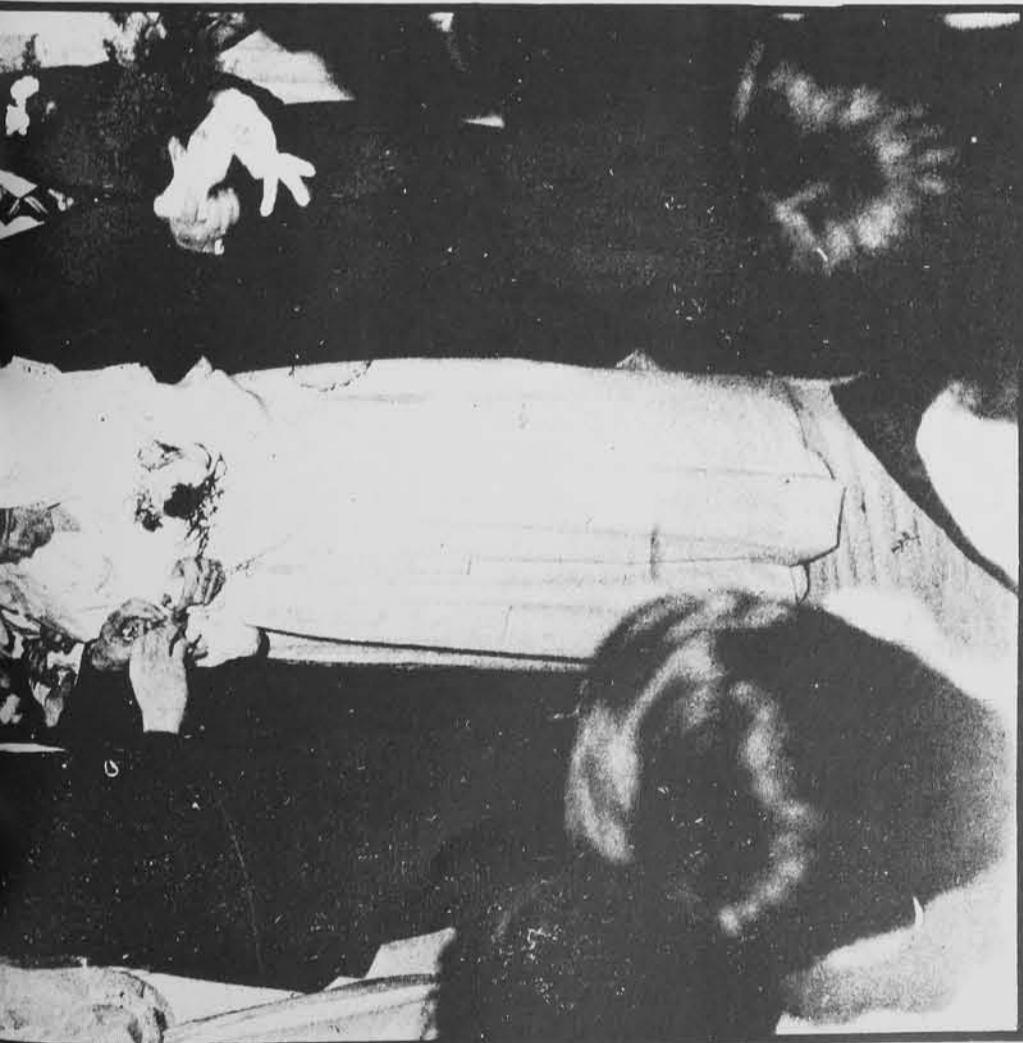
1. Rev. Moon and Mrs. Moon, who performed the ceremony.
2. All answered, "Yes, I do."
3. Exchange of the wedding rings.
4. Newly-wed Mr. and Mrs. Gary Brown.
5. Couples two-by-two.
6. Live forever as children of God.



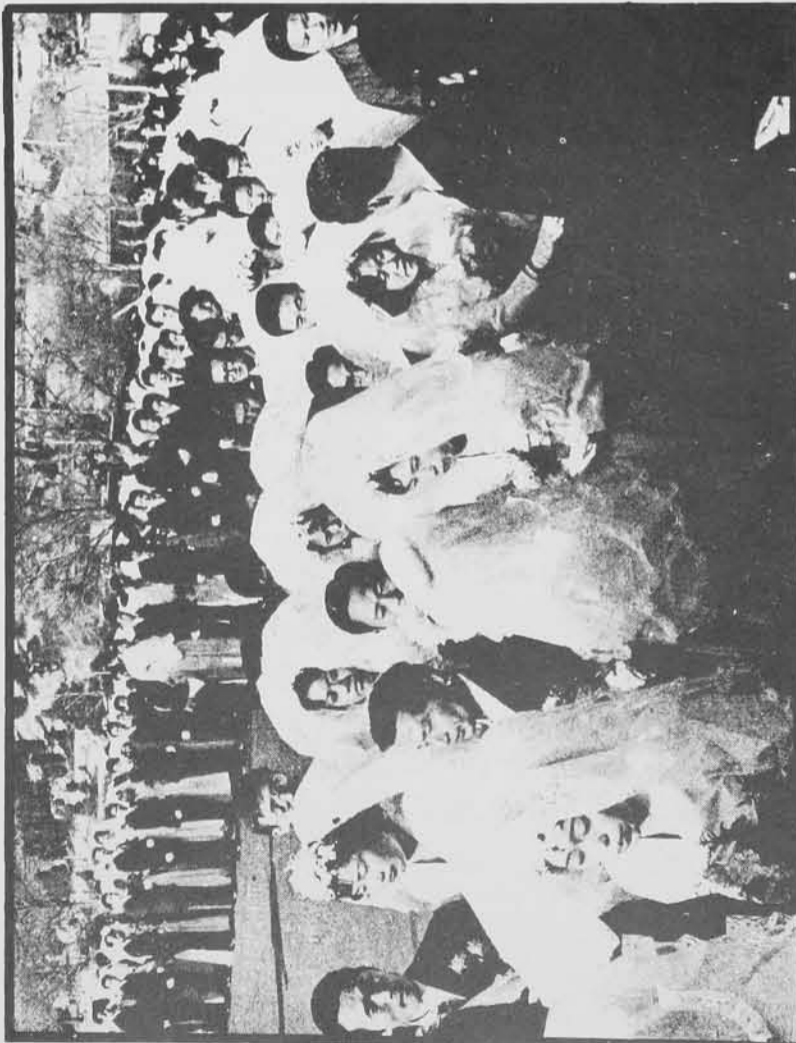
المسيح فلان والسيدة قرينته



العراس لعم



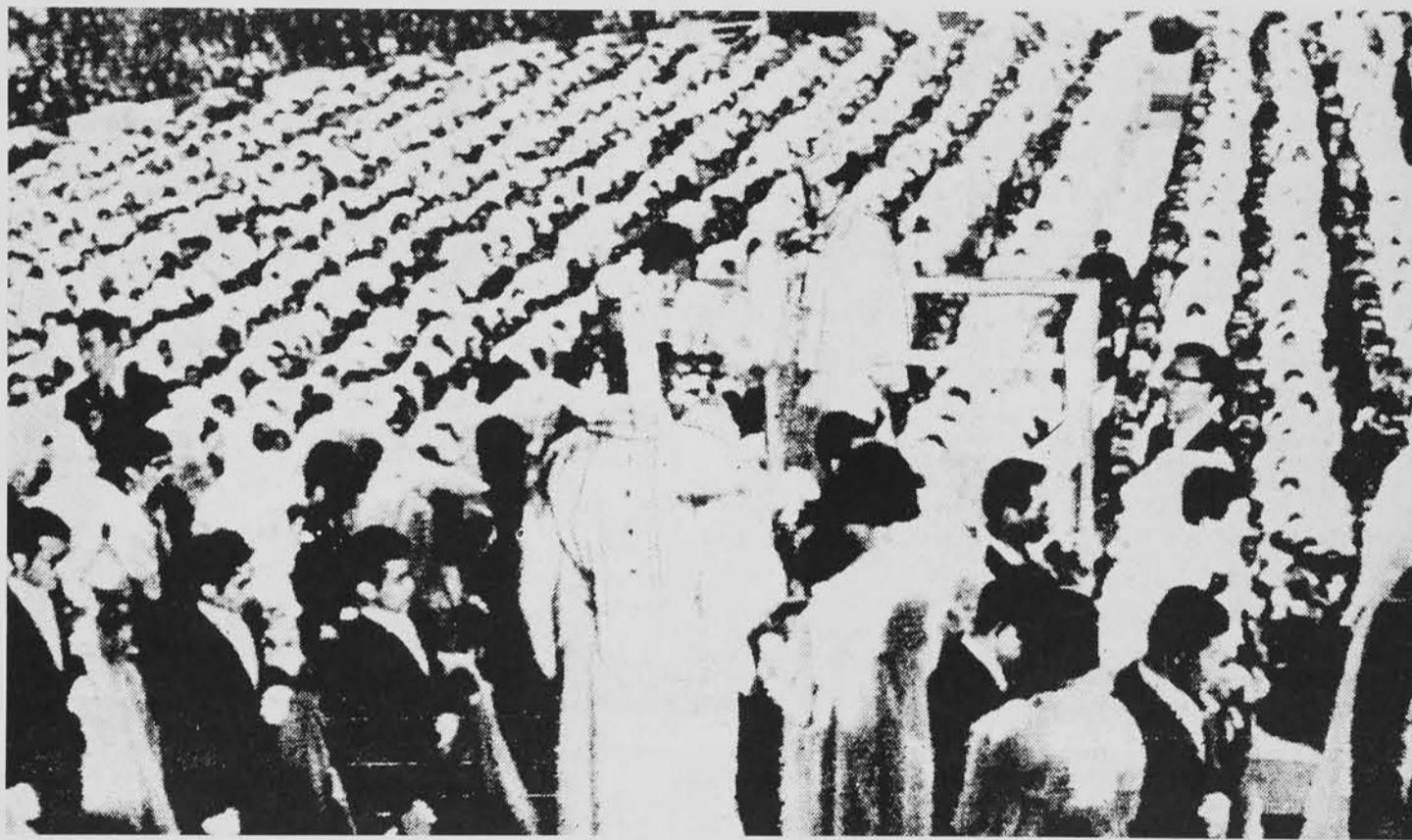
بالمجد والكرامة



... وعاشوا طويلا ورزقوا اولادا كثيرين

The Ottawa Journal

Monday, Feb. 10, 1975



HERE COMES THE BRIDES — 1,800 OF THEM

Rev. Sun Myung Moon, founder of the "Unification Church," officiated Saturday at a mass wedding for 1,800 couples from 20 countries in a gymnasium in Seoul, South Korea. In 1970, Moon married 777 couples in the same gym (AP Wirephoto)

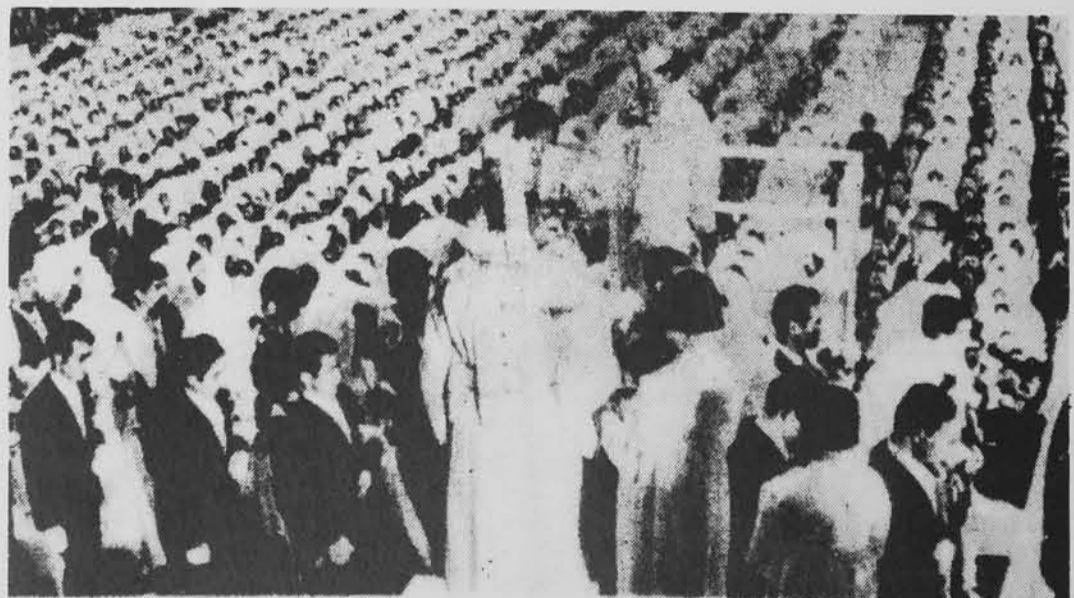
Sunday
SUN

TORONTO, ONTARIO, • SUNDAY February 9, 1975
Vol. 2 No. 22

The GAZETTE, Montreal, Mon., Feb. 10, 1975

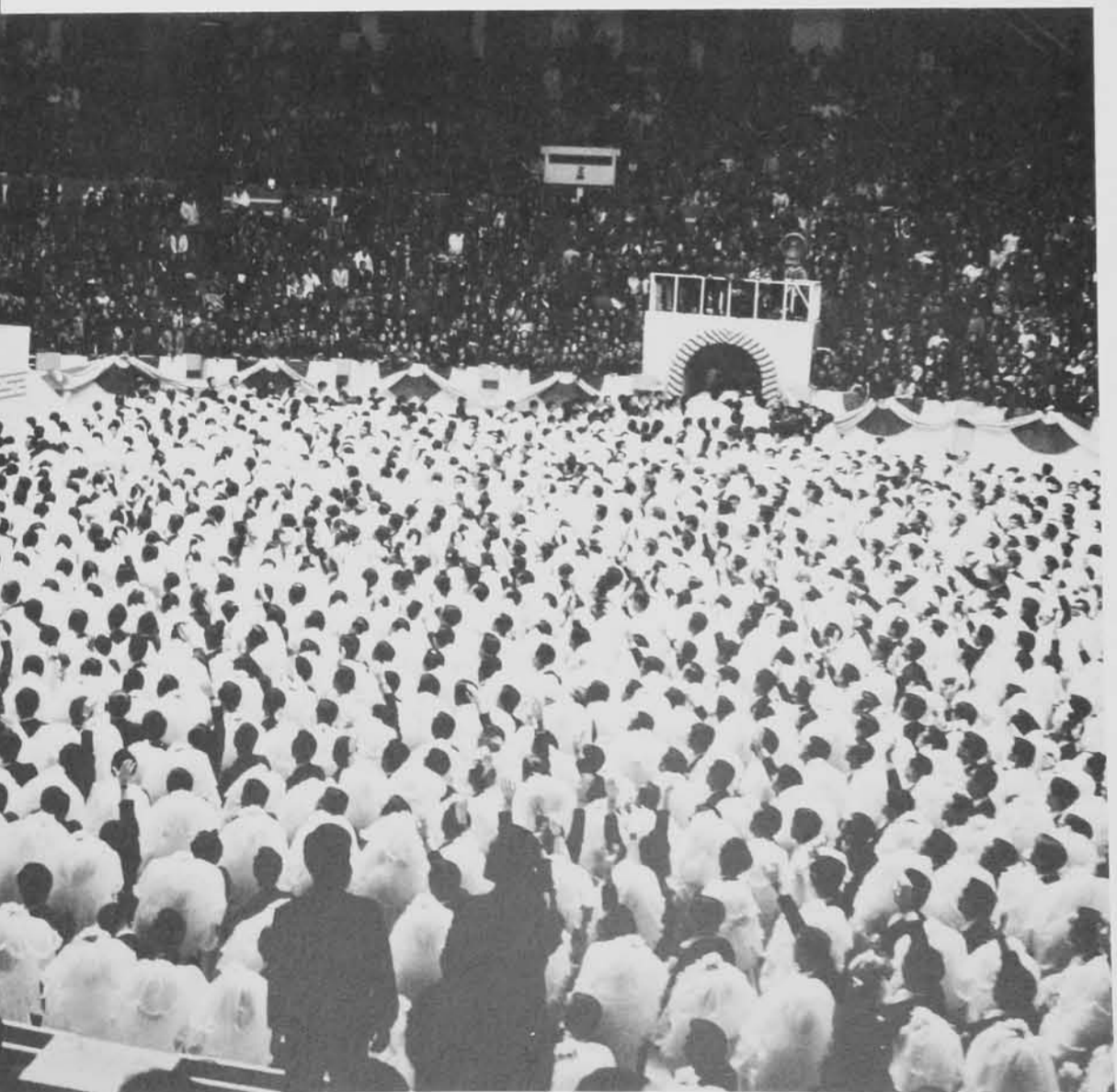
Single ceremony for 1,800 couples

SEOUL, South Korea: The Rev. Sun Myung Moon, founder of the "Unification Church," officiated this weekend at a mass wedding for 1,800 couples from the United States, Japan, Korea and 17 other countries. The couples were approved by Moon after a two-week training program. The couples decided to show their gratitude by buying Moon a mansion.



THE LARGEST MASS WEDDING ever in Seoul, South Korea, took place yesterday as Korean preacher Sun-myung Moon pronounced 1,800 couples from 21 countries "couples forever" amid freezing temperatures and a shower of confetti. The newlyweds said they were so grateful for Moon's guidance that they will buy him a mansion. He is the founder of the Unification Church.

-AP

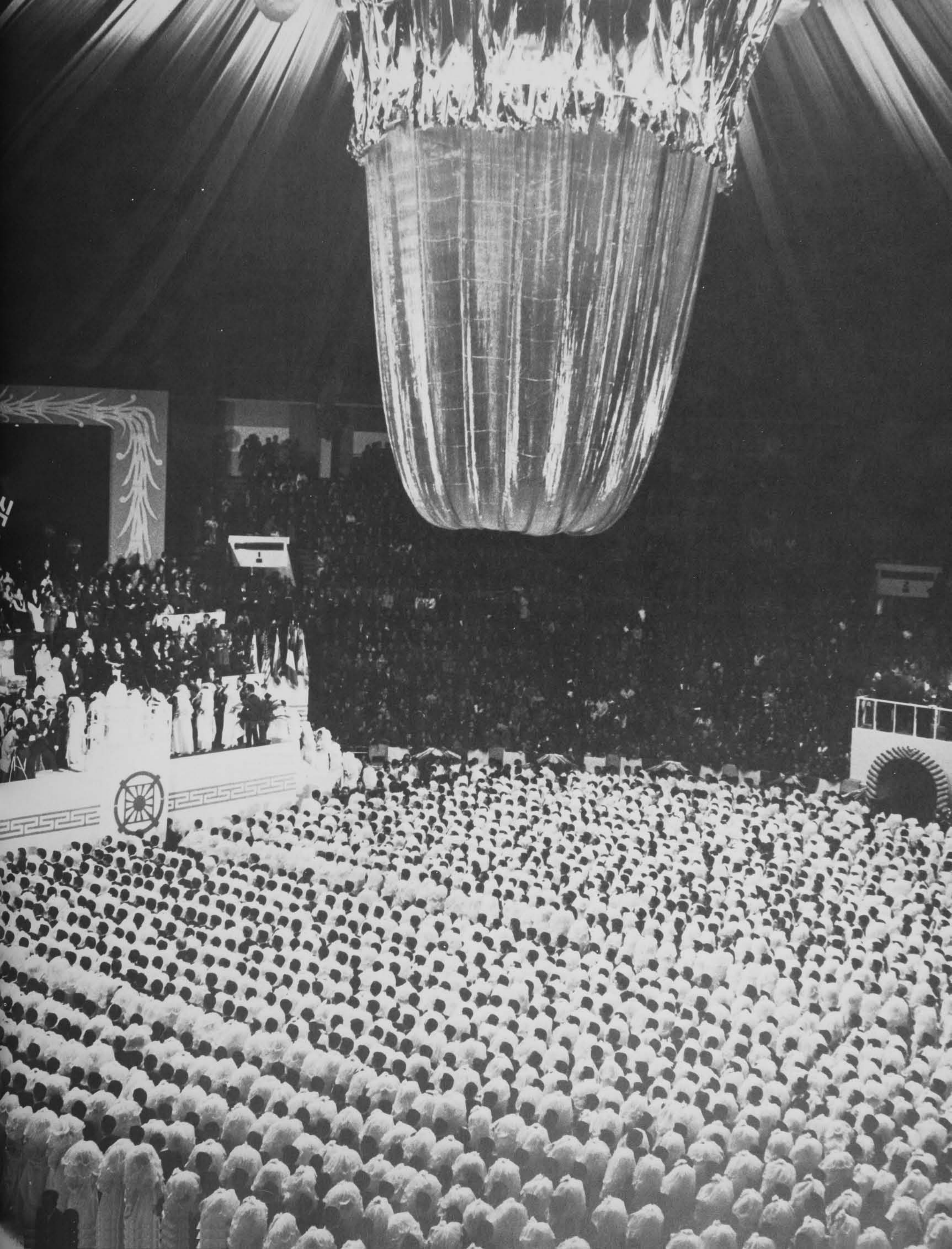




If you really know the greatness of this ideology, you will not think of marrying a spouse from your own nationality. You will want your marriage to help bring the world into oneness. Then it will be monotonous for a white to marry a white, and wonderful for a white to marry a yellow or black. Interracial marriage will make you people of higher dimension and wider understanding. In that way the world will sooner become one.

Sun Myung Moon
November 3, 1974







統一教會

1800雙國際合同結婚式

THE UNIFICATION CHURCH INTERNATIONAL WEDDING OF 1800 COUPLES

名單

(20 個國參加)

時 • 1975. 2. 8. 10:00 AM

處 • 서울獎忠體育館

Seoul Chang Chung Gymnasium

KOREA JAPAN AMERICA ENGLAND GERMANY FRANCE ITALY AUSTRIA
NETHERLANDS CHINA CANADA BRAZIL SWEDEN NORWAY SWITZER-
LAND ARGENTINA IRELAND BELGIE AUSTRALIA TRINIDAD

世界基督教統一神靈協會

The Holy Spirit Association for the Unification of World Christianity

TEL. 42 6264, 43 5594, 4101, 44 4925

Western Couples

Nationality	Man	Woman
American	Ernest Stewart	Therese Klein
American	Walter Zack Piorkowski	Patricia Hannan
American/Korean	Jeffrey Tallakson	Ji, Yong Nam
American/Korean	Theodore Casten	Park, Sung Kyu
American/Korean	Dr. Joseph Sheftick	Kim, Boo Young
American	Larry Trenbeath	Marlene Dudik
American/German	Joachim Becker	Friedhilde Bachle
English/German	Christopher Davies	Henniek Kragt
Japanese/American	Sato, Masayoshi	Sachiko Masada
American	Galen Brooks	Carroll Ann Dobrotka
English/Trinidadian	Richard Barlow	Hazel Ifill
American/Canadian	Mark Erickson	Katherine Bell
American/Canadian	James Davin	Grace Ross
American	Paul J. Perry	Linda Marchant
American	Perry Cordill	Mary O'Brien
American	John Harries	Katherine French
American	Richard Hunter	Elizabeth Drapcho
American	Justin Fleischman	Patricia Kieffer
American	David Stadelhofer	Ann Bowser
American	Gary Brown	Claire Baum
American	Keith Cooperrider	Sara Sack
American/Dutch	Christopher Olson	Gietta van der Stok
American	Gary Fleisher	Alice Hamaker
American	George Glass	Helen Koepke
American	Daniel Stein	Pamela Stockwell
American	Kenneth McDonald	Cynthia Efav
American	John Doroski	Nanette Semha
American	Jack Hart	Felice Walton
American	Michael Beard	Barbara Whitehair
American	Gilbert Roschuni	Franette Palmer
English/American	Robin Kuhl	Kathleen Heney
American/German	James Gavin	Gudrun Bresch
English/American	Kevin Brabazon	Maria Gill
American/English	Roger Hellman	Nicola Barlow
Japanese/Korean	Kenji (Daikan) Ohnuki	Nam Hi Lee
Korean/American	Chong Moon Kim	Lynne Doerfler
American	Michael Roth	Carmela Acohido
American	James Cowin	Bernice Rechlis
American/Austrian	John Brady	Frieda Friesenecker
Korean/American	Hyo Yul Kim	Phyllis Yamato
American/Japanese	Joe Tully	Sanae Hamada
American	Michael Warder	Cheryl Gilkerson
American/German	Robert Wilson	Barbara Heinbuch
American/Norwegian	Stefan Pfaender	Ase Ulimoen
American/Japanese	Charles Anceney	Kimiyo Chogo
English/American	John Relph	Beverly Lee
American/Korean	Michael Richardson	Soon-Ja Park
Canadian/Japanese	Alan Widing	Michiko Miyamura
American/Japanese	Michael Allen	Kikuno Suto
Australian/Japanese	Robert Rattley	Mimiko Maruyama
Japanese/American	Harumi Take	Lisa Martinez
Japanese/American	Kazunari Katakura	Wendy Baker
Japanese/American	Shoji Masuyama	Barbara Snell
Japanese/American	Isamu Matsuya	Margaret Warden
American/German	Paul Yasutake	Gertrud Strobl
American/Czech		Michael H. Kiely
Dutch/American		Dirk ten Wolde, Jr.
American		Stephen Deddens
Austrian/German		Karl Leonhardtsberger
American		Regis Hanna
American		Dan Fefferman
American		Gregory Novalis
Belgium/American		Roland Lejeune
American/French		Joseph Stein
American		William Bergman
American		Hal McKenzie
American		Walter Gottesman
American		Samuel Pell
English/American		Michael Leone
American		Ian Alexander
American		Kenneth Weber
French/American		Jean Penhard
American		Thomas Burkholder
Japanese/American		Takashi Kagawa
American		Peter Pierron
American/Austrian		David Hess
American		John Pople
American		Harmon Grahn
American/German		Richard Copeland
American/German		Russell Walters
American		Glenn Strait
Austrian/French		Albert Heitzinger
American/English		Evans Johnson
Austrian/American		Werner Huber
American		Lorenzo Gaztanaga
American		Richard Van Loon
American		Randall Berndt
German/American		Hermann Wackler
American		Neal Drucker
English/Canadian		Terry Brabazon
American		David Flores
Austrian/American		Hannes Thurner
English/American		Stephen Symonds
German/American		Klaus Schick
American/German		Thomas Ward
Italian		Franco Ravaglioli
American/German		Peter Mullen
French/American		Jean Pierre Subrenat
American		William Connery
American		Marshall Frothingham
American		Michael Herbers
American		Louis Fournier
American/German		James McCann
French/Dutch		Christian Blandin
French/American		Dominique Belot
Japanese		Kotoku Kochi
Austrian/American		Harald Unger
Austrian/American		Alois Lang
American		Ray Bacon
French/Israeli		Jean-Pierre Monnibot
American		Maria Pascher
American		Barbara Mikesell
American		Rosemary Banyas
American		Annemie Ebi
American		Nancy Callahan
American		Dan Fefferman
American		Susan Finnegan
American		Kathy Goldman
American		Judith Culbertson
American		Anne Caze
American		Nina Zedicoff
American		Lynda Champion
American		Maureen Murphy
American		Katherine Harting
American		Bonnie Hylton
American		Helen Chin
American		Diana Swank
American		Alice Van Dyke
American		Carolynn Baker
American		Genie Larkin
American		Sara Reinhardt
American		Julia Mittermuller
American		Joy Schmidt
American		Jeannine Hancock
American		Liane Huberth
American		Anita Jaspers
American		Louise Berry
American		Therese Lebreton
American		Rachel Eden
American		Stephanie Schutz
American		Susan Jacobson
American		Catherine Bruno
American		Beverly Howe
American		Roberta Deovlet
American		Diane Frink
American		Marvi Ranniste
American		Jean Blatt
American		Darcy Turner
American		Mary Kuruc
American		Mary Ellen Holmes
American		Adelheid Huehnergath
American		Giannina Figus
American		Edeltraud Streibel
American		Helen Ireland
American		Kristine Bick
American		Gloria Mota
American		Margaret Pease
American		Merlinda Skow
American		Barbara Landgrebe
American		Lisette Klever
American		Nancy Kerkove
American		Honda Yemiko
American		Elizabeth Unger
American		Sandra Singleton
American		Jayne Knudsen
American		Rafaella Jungman

서울教區		權昌龍(九里) 申悌淑(서울·城東)		朴武萬(九里) 權英順(서울·九里)		李吉同(九里) 成明圭(慶北·大邱)		曹圭成(九里) 李吉順(서울·本部)		孟廣在(中區) 徐秋源(京畿·江華)	
姜維植(本部) 趙仙花(서울·九里)	高勳錫() 李英子()·大田)	金成培() 趙分玉(京畿·廣州)	金昌瑞() 池賢子(서울·龍山)	朴鎮鐵() 朴英姬(慶南·咸陽)	朴根布() 崔壽一(忠南·瑞山)	李殷宰() 申順德(서울·城北)	曹仁洙() 朴守子()·九里)	朱基源() 洪命子(慶北·善山)	朴淳培() 金壬生(慶北·大邱)	李相華() 宋喜玉(忠南·洪城)	李相華() 宋喜玉(忠南·洪城)
權寧在() 崔仁洙(서울·九里)	金炳俊() 朴恩子(慶南·河東)	金國漢() 俞順熙()	金周煥() 李順德(全北·鎮安)	朴雨陽() 朱蓮花(江原·原州)	朴柱喆() 崔振寧(서울·本部)	李廷王() 辛永子(慶北·尚州)	朱丙暎() 沈載淑(서울·九里)	池基安() 林憐淑(全北·淳昌)	池錫均(東大門) 李東秀(慶北·大邱)	金泰源() 李鍾西(서울·城東)	金泰源() 李鍾西(서울·城東)
金甲周() 孫洪花(忠南·燕技)	金成萬() 張鳳伊(全北·任實)	金仁鎬() 郭喜順(京畿·驪州)	金玉烈() 權英一(서울·九里)	朴成昌() 姜京希(全北·群山)	裴星奎() 尹英玉(慶北·蔚珍)	李漢宰() 崔吉仙(京畿·利川)	池성민() 金二成(慶北·大邱)	陳祥福() 趙且順()	金正宰() 申熙淳()·九里)	鄭官秀() 金鍾翼()·城東)	鄭官秀() 金鍾翼()·城東)
金秀雄() 根本節子(서울·本部)	金大鳳() 朴淑姬(서울·本部)	金榮昌() 李以先(慶北·漆谷)	金榮昌() 李以先(慶北·漆谷)	裴貞免() 池東禮(忠南·天安)	裴潤浩() 柳鍾禮(서울·中區)	李鍾伯() 李順愛(慶北·大邱)	崔哲文() 金鉉順(全北·長水)	陳炳奎() 李順禮(全南·濟州)	李瑞行() 尹順福(京畿·水源)	趙仁權() 文玉女(江原·東草)	李瑞行() 尹順福(京畿·水源)
金千洙() 柳錦姬(全南·求禮)	朴珍三() 李弘順(江原·春川)	金永受() 金斗先()·星州)	金光燮() 金連順(서울·九里)	裴潤浩() 柳鍾禮(서울·中區)	白吉鉉() 鄭英子(서울·九里)	李斗林() 朴明玉(서울·九里)	崔年淳() 宋貞淑(慶北·軍威)	崔成龍() 金順德(忠北·清州)	韓明善() 宋英姬(慶北·大邱)	宋外澤() 朴奉子(京畿·坡州)	宋外澤() 朴奉子(京畿·坡州)
慎宰三() 辛勝子(全南·長興)	安炳日() 朴三一(서울·本部)	金宅秀() 李貞淑(全北·淳昌)	金鎮海() 金貞愛(서울·中區)	徐亨錫() 鄭姬子(忠南·洪城)	白鉉鍾() 李永順(江原·楊口)	李相玉() 安山玉()	崔承奎() 吳貞任(慶南·咸陽)	崔承奎() 吳貞任(慶南·咸陽)	尹成勳() 李炯實(江原·鐵原)	玄鍾安() 朴守連(慶南·釜山)	尹成勳() 李炯實(江原·鐵原)
梁成吉() 尹基溫(서울·本部)	尹炳律() 洪英姬(京畿·華城)	金東根() 都英子(서울·九里)	金連煥() 崔玉子(全北·淳昌)	成鎬碩() 沈芝順(서울·東大門)	孫乙善() 崔順德(全北·淳昌)	李新求() 金順姬()	河泳完() 林玉子(全南·寶城)	韓庚祚() 鄭貴分(忠南·瑞山)	金善坤() 李振順(京畿·仁川)	崔元圭() 金光順(서울·九里)	金善坤() 李振順(京畿·仁川)
李贊炯() 曹希在(서울·城東)	李成喆() 金福子(서울·鍾路)	金光洙() 朴慶順(忠北·沃川)	金永倫() 金明子(慶南·咸陽)	孫長鎬() 崔順任(全北·群山)	宋一龍() 金彥子(慶北·南大邱)	李春植() 尹福姬()	許雨() 吳子允(慶南·釜山)	韓在九() 鄭在順(慶北·南大邱)	李龍芳() 位淑子(서울·城東)	金正根() 張順棟()	李龍芳() 位淑子(서울·城東)
李鍾義() 許明淑(서울·城北)	李範俊() 李甲連(慶南·馬山)	金成太() 金英順(서울·九里)	金吳澤() 趙順愛(忠北·清州)	慎石宰() 金明姬(서울·九里)	慎謂辰() 李錫子(京畿·城南)	李錫根() 金英子(全北·全州)	洪淳根() 崔允淑(慶南·固城)	許鳳柱() 李潤子(京畿·富川)	朱鎮勝() 金和秀()·本部)	金時謙() 崔榮順(忠南·論山)	朱鎮勝() 金和秀()·本部)
李鎮洙() 李順德(京畿·安養)	李斗榮() 金昌禮(江原·春川)	金吳澤() 趙順愛(忠北·清州)	金善鎬() 南乘花(서울·九里)	安好一() 李順馥(서울·九里)	安南植() 張惠心(全南·光州)	李源道() 董順南(慶南·釜山)	洪仲基() 梁英喜()	洪淳正() 李七任(忠北·清州)	申鎬澈() 石浦悅子(서울·本部)	朴泰興() 成埔俊(서울·本部)	申鎬澈() 石浦悅子(서울·本部)
李鎔學() 李英姬(서울·九里)	鄭海官() 李海允(서울·永登浦)	南宮鉉() 金順禮(서울·本部)	盧鸞貴() 崔籍文(慶北·慶州)	延濟洪() 朴順容(京畿·廣州)	吳正佑() 金英姬(서울·九里)	李源道() 董順南(慶南·釜山)	洪淳正() 李七任(忠北·清州)	洪順彩() 權英姬(서울·九里)	朴泰興() 成埔俊(서울·本部)	黃元淳(城北) 金英子(全南·光陽)	黃元淳(城北) 金英子(全南·光陽)
鄭大均() 金一嬪(京畿·富川)	崔二德() 鄭聖喜(慶南·釜山)	盧仁洙() 趙鎮順(서울·永登浦)	盧彥鎬() 李貞子(京畿·華城)	安南植() 張惠心(全南·光州)	禹榮吉() 陳惠淑(全北·裡里)	任英彬() 金英姬(서울·九里)	洪淳正() 李七任(忠北·清州)	黃美三() 許義子(慶南·咸安)	李甲山() 李允子(서울·本部)	趙喜榮() 宋貞南(江原·楊口)	李甲山() 李允子(서울·本部)
韓錦教() 鄭壬順(서울·東大門)	許壽煥() 金相子(全南·麗水)	都永錄() 金粉善(慶北·軍威)	羅炳俊() 金有順(全北·金堤)	尹守一() 金泰仙()·九里)	尹玉炳() 洪京喜(慶北·聞慶)	張正吉() 朴榮子(慶北·東大邱)	黃美三() 許義子(慶南·咸安)	慎錫玉(鍾路) 崔芳林(全北·金堤)	趙喜榮() 宋貞南(江原·楊口)	李庸一() 李熙福()·春川)	趙喜榮() 宋貞南(江原·楊口)
姜三道(九里) 朴順今(全南·務安)	姜聲寅() 金姬順(慶南·密陽)	馬貞根() 安衡子()·裡里)	文龍大() 朴八先(慶南·釜山)	李定根() 孟謂淑(京畿·平澤)	李永載() 宋榮禮(서울·九里)	全寅昇() 金玉基(서울·本部)	慎錫玉(鍾路) 崔芳林(全北·金堤)	金守東() 金泰熙(서울·本部)	李庸一() 李熙福()·春川)	崔真豪() 金順德(京畿·龍仁)	李庸一() 李熙福()·春川)
姜聲載() 鄭玉任(全北·群山)	姜仁秀() 李允基(慶北·大邱)	文明大() 尹榮順(忠北·清州)	文明大() 尹榮順(忠北·清州)	李映雨() 朴慶花(慶北·星州)	李炳武() 文京淑(江原·春川)	鄭福述() 徐炯禮()·鍾路)	金守東() 金泰熙(서울·本部)	安吳根() 崔成子(서울·九里)	崔真豪() 金順德(京畿·龍仁)	李榮漢() 朴貞淑(慶南·三千浦)	李榮漢() 朴貞淑(慶南·三千浦)
高正錫() 金在順(京畿·安養)	高基錫() 李順愛(全南·羅州)	朴東烈() 金泰順(忠南·天安)	朴守杓() 崔金花(全南·康津)	李映雨() 朴慶花(慶北·星州)	李炳武() 文京淑(江原·春川)	鄭在根() 吳春姬(全南·寶城)	金守東() 金泰熙(서울·本部)	車光進() 柳濟分(서울·鍾路)	李榮漢() 朴貞淑(慶南·三千浦)	羅有欽() 李信和(江原·麟蹄)	羅有欽() 李信和(江原·麟蹄)
孔在佑() 安仁愛(江原·華川)	權泰億() 國分惠枝子(서울·東崇)	朴在弘() 吳成禮(京畿·安養)	朴上男() 李基花(全南·長城)	李映雨() 朴慶花(慶北·星州)	李炳武() 文京淑(江原·春川)	鄭鳳泰() 朴英子(서울·九里)	安吳根() 崔成子(서울·九里)	昔榮煥() 張世宗()·九里)	曹秉德() 安光妙(慶南·咸安)	李永喜() 金現正()·釜山)	曹秉德() 安光妙(慶南·咸安)
				李映雨() 朴慶花(慶北·星州)	李炳武() 文京淑(江原·春川)	鄭應謨() 金時英(慶南·鎮海)	安吳根() 崔成子(서울·九里)	李莊煥() 崔正惠()·城北)	李永喜() 金現正()·釜山)	金永勳() 崔炳姬(서울·九里)	李永喜() 金現正()·釜山)
				李映雨() 朴慶花(慶北·星州)	李炳武() 文京淑(江原·春川)	鄭平基() 李光淑(忠北·鎮川)	車光進() 柳濟分(서울·鍾路)	昔榮煥() 張世宗()·九里)	趙建植() 曹津和成()·本部)	金泰坤() 陳賢淑()	趙建植() 曹津和成()·本部)
				李映雨() 朴慶花(慶北·星州)	李炳武() 文京淑(江原·春川)	鄭鴻泰() 趙仁蘭(서울·九里)	金承浩() 武江和子()·本部)	李莊煥() 崔正惠()·城北)	金泰坤() 陳賢淑()	吳昌煥() 金正女(江原·原州)	吳昌煥() 金正女(江原·原州)
				李映雨() 朴慶花(慶北·星州)	李炳武() 文京淑(江原·春川)	鄭泉吳() 徐源香()·里門)	金王坤() 崔明愛()·道峰)	金在晚() 白敬子()·九里)			
				李映雨() 朴慶花(慶北·星州)	李炳武() 文京淑(江原·春川)	鄭躋源() 黃順福()·九里)	金福勳(中區) 崔貴女()·九里)	徐龍雲() 李吉汝()·東大門)			
				李映雨() 朴慶花(慶北·星州)	李炳武() 文京淑(江原·春川)	鄭世溶() 柳寬順()					
				李映雨() 朴慶花(慶北·星州)	李炳武() 文京淑(江原·春川)	鄭贊永() 崔京子()					
				李映雨() 朴慶花(慶北·星州)	李炳武() 文京淑(江原·春川)	趙載永() 金玉姬(慶北·聞慶)					
				李映雨() 朴慶花(慶北·星州)	李炳武() 文京淑(江原·春川)	趙相根() 陰仁植()·城東)					

池用權(道峰) 姜順子(慶南·釜山)
 洪玉鎮() 李貞節(서울·東崇)
 金東賢() 鄭日美()·龍山)
 安致命() 張順福()·九里)
 權潤起() 河美蘭()·東大門)
 金尙坤(西大門) 朴光順(京畿·驪州)
 申明均() 李鎔鎔(서울·麻浦)
 魏永煥() 李信淑()·西大門)
 李鍾恩() 朴賢淑()·城北)
 李鎔光(麻浦) 崔蘭淑(서울·城北)
 宋定鎬() 陸京淑(全北·井邑)
 韓容文() 徐斗順(서울·本部)
 朴煥培() 李英仙(慶南·蔚山)
 李永承() 姜春花(江原·旌善)
 黃秀聖() 金英信()·江陵)
 張慶于() 朴龍順(忠北·清州)
 文慶一() 鄭惠順(서울·九里)
 朴商榮(龍山) 韓明子(京畿·安城)
 朴炳時() 賈王子(慶北·善山)
 李康燮() 朴京熙(서울·九里)
 蔡文吉() 閔炳順(京畿·驪州)
 崔甲斗() 羅千洙(慶北·蔚珍)
 金炳章() 金喜子(慶南·釜山鎮)
 李揆煥() 曷淑子(忠南·瑞山)
 尹鳳遠(永登浦) 洪榮子(서울·九里)
 李鎮班() 丁海任(全南·務安)
 鄭武學() 崔貞林(京畿·安城)
 李仁圭() 蔡潤玉(慶北·大邱)
 金春謙() 呂玉子(全北·全州)
 安占同() 李相順(서울·九里)
 李春鍾() 盧允珠(慶南·咸安)
 梁亨模() 金正英(서울·本部)
 崔宗泰() 趙貞熙()·鍾路)
 徐廷珍() 林貞葉(慶南·河東)
 元成桂() 林仁愛(서울·九里)
 朴俊相() 金必順()·)

金相培() 朴元子(서울·鍾路)
 李在永() 金英淑(京畿·仁川)
 宋世旭(里門) 金月順(경북·경주)
 宋世文() 金熙任(서울·九里)
 金一斌() 趙仁宿(慶北·大邱)
 李連園() 鄭敬心(서울·九里)
 金東雲(江南) 柳貞夏(慶北·大邱)
 皇甫大() 金點美()·禮泉)
 趙煥垂() 張河瑄(忠南·洪城)
 禹鍾大() 金美化(서울·九里)
 張在亨(新村) 李任順()·)
 秦成培(東崇) 金聖姪()·)
 陳京熙() 金伽淑(忠南·天安)
 金炳禧(安岩) 徐善喆(서울·城北)
 朴範哲(回基) 崔芳子()·本部)
 鄭明真(長安) 福山真知子
 朴聖基() 劉蕪蘭()·)
 成範模(教授) 韓恩子(京畿·仁川)
 吳守勇() 安文鎬(서울·江南)
 姜承憲() 金弘子()·九里)
 柳在燮() 崔明淑(忠南·保寧)
 金起熙(回基) 宋在姪(忠北·報恩)
 京畿教區
 金興泰(仁川) 林鉉順(全北·金堤)
 吳文煥() 李蕊澤(京畿·仁川)
 金在奉() 金孝南(全南·羅州)
 柳鍾珩() 李相蘭(서울·九里)
 李載成() 劉玄子(全北·全州)
 朴仁秀() 李玉仙(慶北·漆谷)
 黃聖秀() 金鍾蘭(서울·九里)
 吳昌燮() 金玟廷()·)
 宋裕文() 趙泰粉()·本部)
 朴潤錫() 康美淑()·)
 金在吉() 崔景姬()·龍山)

姜彩植(仁川) 李春子(京畿·廣州)
 李泰坤() 趙甲順(慶北·大邱)
 李永錫() 李根順(서울·中區)
 金珍輝() 李鍾玉(京畿·城南)
 金斗煥() 張春桃(慶北·大邱)
 梁在勳() 金泰子()·東大邱)
 崔龍錫() 尹京玉(서울·城東)
 洪載鍊() 李英花()·本部)
 朴洪源() 金雨洙(京畿·仁川)
 權赫植() 鄭三任(全南·咸平)
 高學貴() 金敬兒(서울·中區)
 金成鍾() 金亨烈(慶北·善山)
 韓晚洙() 徐惠玉(서울·九里)
 李圭善() 金貞伊(全北·全州)
 朴根植() 尹元心(全南·海南)
 朴鍾柱() 趙善禮(慶南·晉州)
 黃基燮() 金宇營(全南·光山)
 姜遠三() 金春玉(京畿·城南)
 金東雨() 李月順(서울·本部)
 金守哲() 李連子()·九里)
 崔奇容(水原) 李英微(京畿·水原)
 金爽中() 張惠媛()·金浦)
 李榮大(城南) 崔貞淑(慶北·大邱)
 朴在浩() 金畢順()·南大邱)
 方達榮() 趙蘭衍(忠南·扶餘)
 吳泰根() 李熙子(서울·城東)
 李光海() 崔今仙(江原·春川)
 禹斗驤(議政府) 金文源(慶南·狹川)
 金光洙() 金鍾根(全北·扶安)
 金在元(安養) 柳東心(慶南·釜山)
 이용오() 具滋姬(江原·春川)
 吳聖珍() 尹瓊姬(서울·九里)
 權赫鉉() 崔葵華()·本部)
 鄭東珠() 金慶子(京畿·仁川)
 張龍得() 羅允淑(서울·本部)
 崔駿三() 全明子(京畿·金浦)

李容沃(富川) 安順子(서울·九里)
 朴星遠() 尹亨心(全南·康津)
 金南洙(楊州) 金秋實(京畿·廣州)
 尹省軟() 金雪子(慶南·釜山)
 張正彩() 金奇粉(忠南·錦山)
 朴生運() 李東花(忠南·天安)
 趙源達(驪州) 白善珠(慶南·晉州)
 張明根() 黃順女(京畿·仁川)
 金德鉉(平澤) 申德南(서울·里門)
 徐永錫() 洪淑姬()·城北)
 李丙賢() 林在姬(京畿·抱川)
 李鍾善(華城) 金花仙(서울·本部)
 趙恒三() 朴七先()·九里)
 全全栢() 黃貞姬(慶北·尚州)
 趙千默() 李明珍(江原·華川)
 李建九() 姜貞姬(서울·九里)
 李鍾漢(坡州) 南相根(全北·裡里)
 郭近熙() 金順玉()·淳昌)
 李教錫() 陸甲仙(서울·九里)
 鄭邦永() 宋基禮()·)
 奇均鎬() 金順姬()·)
 崔文奎(高陽) 金仁姬(京畿·坡州)
 鄭英水() 李相姬(忠南·瑞山)
 李玟水() 金昌姬(京畿·高陽)
 朴永淇() 高恩正()·議政府)
 金昌年(廣州) 孫壬順(慶南·晉州)
 李夢庸() 金順玉(忠北·忠州)
 金學彬() 朴琴女(서울·九里)
 韓明秀(加平) 宋昌淑()·西大門)
 崔建植() 金煥王(慶南·居昌)
 趙安基() 李日仙(서울·九里)
 鄭煥範() 朴明慈(慶南·咸陽)
 金東植(安城) 辛東順(京畿·廣州)
 金東建() 金憲九(忠南·天安)
 申東閔(利川) 吳南洙(서울·西大門)
 吳德煥() 高宗宇(慶南·釜山)

劉載完(利川) 金玉禮(忠南·洪城)
 李龍奉(江華) 金順子(慶北·尚州)
 黃祐讀() 朴安順(全北·金堤)
 安祥宜() 金英任(서울·九里)
 徐昌燮(楊平) 安貞花()·)
 徐光燮() 金兼煥(忠南·天安)
 庚明錫(龍仁) 張貞喜(慶南·固城)
 李仁榮(抱川) 尹淑子(慶北·大邱)

江原教區

林茂相(春川) 李滿順(慶北·尚州)
 張寬龍() 朴貞姬(全北·茂朱)
 趙良默() 鄭春基(慶北·大邱)

陳仁正() 李學範()·尚州)
 柳頑植() 朴信子(서울·本部)
 李定熙() 姜美淑()·九里)
 金亨泰() 韓福德(慶南·釜山)
 權世均() 吳漢淑(京畿·議政府)
 朴二德() 孫龍淑(서울·城北)
 金相洙(原州) 李順玉()·鍾路)
 辛喆善() 孫惠淑()·道峰)
 金甲鏞() 金聖任()·本部)
 趙惠連() 李敬爾()·九里)
 崔憶柱() 徐良子(京畿·高陽)
 朴三河(江陵) 徐東孝()·安城)
 朴容星() 崔点淑(忠北·鎮川)
 朴勝槿() 康賢子(서울·鍾路)
 李東洙() 崔明淑(全北·全州)
 朴載厚() 金星子(忠南·論山)
 魚潤基(東草) 徐明子(慶北·義城)
 金長永() 朴多福()·大邱)
 朴鍾九(鐵原) 文明順(全南·羅州)
 金道洙() 郭德心(全北·任實)
 朴宇根() 宋明王(서울·鍾路)

黃宙一() 李起玉(江原·江陵)
 曹正鉉() 張一熙(慶北·漆谷)
 韓尚哲(麟蹄) 金美子(서울·道峰)
 金永燮() 鄭花順(京畿·仁川)
 朴衡重() 梁花錫(서울·九里)
 洪鍾均(三陟) 金淑嬰(全南·宣城)
 金周鎬() 崔錦順(忠北·槐山)
 金明殷(黃地) 林連子(全南·光州)
 朴相吉(楊口) 朴喜順(忠北·永同)
 朴明龍() 尹仁子(江原·春川)
 辺殷九() 孔点順(慶北·星州)
 韓南辰(橫城) 許順熙(서울·本部)
 朴俊浩() 宋妙淑(京畿·富川)
 張昌植() 鄭英姬(서울·九里)
 韓相先(洪川) 池貞玉(忠南·牙山)
 姜聲男() 韓銀熙(서울·九里)
 李在豪() 朴貞玉(江原·麟蹄)
 李鎬均(旌善) 李姬淑(서울·本部)
 高燦永() 安西順()·九里)
 李昌雲(平昌) 金明禮(忠北·沃川)
 趙英奎(華川) 朴光玉(江原·麟蹄)
 池在玉() 金靜淑(慶北·大邱)
 李鐵守(高城) 金貴順(全北·全州)
 金億起(江陵) 曹乙順(慶北·大邱)
 朴仁錫() 李順子(京畿·江華)

忠北教區

尹東惠(清州) 鄭玉任(서울·九里)
 吳弘鎮() 李德任()·里門)
 金東浩() 李惠淑()·永登浦)
 金洪洙() 柳承鉉(忠北·清州)
 金泰奎() 金愛子(서울·鍾路)
 姜淳泰() 李仁述(慶北·大邱)
 柳浩聖() 曹英珠(京畿·仁川)
 李大榮() 林仁淑(서울·九里)

成益賢(忠州) 梁鈴姬(서울·九里)
林炳潤() 金得心()
韓五鉉(堤川) 崔明子(全北·長水)
尹桃湖() 李庸子(京畿·城南)
李永河() 權寧淑(忠南·青陽)
徐盛碩() 李任祚(慶南·釜山鎮)
朴佐用() 尹葵順(서울·鍾路)
鄭俊源() (趙顯順()·中區)
李尚五(鎮川) 鄭吉子(慶北·浦項)
李弼淳() 李福仙(忠南·大田)
宋永源() 金允子(忠北·報恩)
嚴正先() 高南順(서울·九里)
南明鉉() 宋在順(忠北·清州)
林成松(沃川) 尹明姬(서울·本部)
朴求用() 李錫東(京畿·城南)
李相熙(報恩) 裴金子(慶北·漆谷)
柳鍾烈() 李俊河(忠南·大田)
李在洪() 鄭延熙()·牙山)
金柱應(永同) 郭淑榮(서울·九里)
朴喜標() 具貞淑(慶北·大邱)
俞在瀟(陰城) 金玉仙(慶南·馬山)
李基鳳() 趙京淑(서울·本部)
尹晶老() 韓玉仙(忠南·錦山)
南基成() 趙在淑(慶北·清道)
李永輝(清原) 楊玉蘭(忠北·堤川)
金大鉉() 成潤子(서울·九里)
宋錫彬() 金淑子(江原·鐵原)
權五三() 黃花子(京畿·江華)
金俊秀() 申景子(서울·鍾路)
鄭鎮澤() 金文順(全南·寶城)
鄭海源(曾平) 李正姬(慶北·聞慶)
金基潤() 李南順(全北·任實)
金敬洙(丹陽) 柳在分()·東大門)
安泰洙() 金榮心(忠北·清州)
金尚南(槐山) 盧仁子(서울·永登浦)
許瓌九(清州) 李相仁(慶北·金泉)

忠南教區

辛斗鎬(大田) 姜日順(全北·群山)
金贊浩() 申梯順(서울·鍾路)
金寬基() 尹基仁(全北·茂朱)
田溶龜() 李順熙(忠南·大田)
李時永() 趙恒淑(京畿·華城)
林興翰() 崔玉香(忠南·瑞山)
金鎮球() 資明淑(慶南·河東)
朴喬植() 李珍媛(서울·本部)
宋在明() 董明子(江原·鐵原)
呂英秀(公州) 鄭敬姬(서울·東崇)
崔世用() 宋南孝(全北·扶安)
朴英周() 金良任(全南·靈光)
孫逸植() 朴錦淑()·務安)
金榮云() 李點心()·求禮)
李淑周() 金明子(서울·九里)
李淳熙() 韓禮(全北·全州)
卞貴奉(牙山) 金必連(京畿·廣州)
金顯德() 安英順(慶南·密陽)
金顯成() 白英姬(全北·長水)
池喜善() 申善君(慶北·尚州)
南相德() 金東順(慶南·固城)
李承甲() 李康姬(忠南·瑞山)
李相元() 李英愛(서울·中區)
金永泰(唐津) 柳聖愛(慶南·金海)
金銀泰() 金貞任(서울·九里)
孫慶洙() 申부선(京畿·安養)
金五泳() 金永子(全北·全州)
尹駿鎬() 金福子(忠南·洪城)
姜連植() 池錫子(忠南·牙山)
朴東洙() 柳英姬(서울·九里)
權基南(論山) 李年順()·九里)
吳夫圭() 金弼順()·)
朴桂浩() 柳玉相(忠南·天安)
朴根植() 황복사(忠南·大田)

吳成煥(論山) 池良淑(全北·金堤)
金南洙() 최수남(서울·城東)
李光浩(扶餘) 黃椿子(全南·順天)
金世煥() 李淑子(서울·永登浦)
金在元(瑞山) 朴玉培(忠北·清州)
崔基泰() 私惠卿(서울·中區)
朴商鎮() 金永助(慶南·密陽)
孟完燮() 孔植姬(서울·龍山)
金完植() 李成祚(京畿·仁川)
李春光() 韓貞子(全北·任實)
方文出() 金貞順(서울·九里)
金顯錫() 金梅姬(忠南·牙山)
嚴慶鎬() 張英玉()·瑞山)
司空椿() 朴英子(忠南·扶餘)
白禹鉉() 安福順(서울·九里)
姜吉鍾(錦山) 金今順()·本部)
李春基() 全貞順(忠北·沃川)
吉浩夢() 丁旋弘(慶北·慶州)
康鍾植(錦山) 趙再連(서울·九里)
柳貴洪() 李月順()·)
김춘기() 朴義義(忠南·牙山)
尹錫高() 朴晁廷(京畿·利川)
田溶甲() 조후자(서울·東大門)
崔建默() 李建淑()·城東)
金京昌(大德) 金今順(忠南·錦山)
李峰求(洪城) 金玉順(全北·茂朱)
金容成() 全貴任()·淳昌)
李相日(禮山) 金福順(서울·城北)
朴漢奎(清陽) 李泰日(忠南·大田)
李適周() 최희자(慶南·鎮海)
李榮雨() 유명순(忠南·大田)
盧孟春(溫陽) 張福淳(서울·龍山)
申鉉煥(舒川) 高春先()·鍾路)
申珖燮() 李德順(全北·鎮安)
洪亨杓(天安) 金成秀(京畿·華城)
李松官(燕岐) 崔順女(江原·정선)

李貞植(大田) 趙順愛(慶南·馬山)
黃道益(瑞山) 李陽子(慶南·釜山鎮)

全北教區

李大吉(全州) 李今禮(慶北·大邱)
權正錄() 朴永玉(서울·鍾路)
文允柱() 韓貞淑(忠北·堤川)
金容官() 金淑姬(慶南·河東)
金珠鎬() 李英子(京畿·安養)
安明洙() 李榮順(忠北·曾平)
劉廣鍾() 南權順()·報恩)
沈永淑() 金春南(慶北·安東)
崔順童() 李順鍾(서울·城東)
黃泰淵() 金玉子(京畿·利川)
杜炳順() 柳京熙(서울·中區)
李原燦() 金英姬()·本部)
姜秉玉() 俞謹順(忠南·牙山)
徐容植() 李河淑(忠北·沃川)
李大鎬() 尹曲只(全北·全州)
張點洙() 崔貴女(서울·九里)
安炳五() 金根子()·龍山)
金運祚() 金聖熙(慶北·盈德)
鄭永九() 趙英子(全南·光州)
柳弼永() 裴淳烈(忠南·錦山)
張南圭() 具賢淑(慶北·大邱)
朴吉龍() 白點順(全北·長水)
申正鉉(南原) 金喜子(慶南·釜山)
姜庸權() 李熙玉(서울·城東)
李龍九() 李甲順()·九里)
崔昌熙(金堤) 李敬愛(京畿·平澤)
朴秉福() 姜貞雲(忠南·大田)
朴相哲() 李鎔鎮(서울·東大門)
鄭鎮完() 禹洪順()·永登浦)
李判基() 柳四順()·本部)
羅元植() 朴明子()·九里)

羅鎮均(고창) 徐善姬(全南·寶城)
李基泰() 元英喜(京畿·富川)
成鎬甲() 姜蓮花(慶北·大邱)
李平範(群山) 李淑子(서울·永登浦)
蔡義錫() 金鎮玉(忠南·洪城)
崔大羽() 李英子(江原·東草)
全龍述(井邑) 朱孝善(京畿·華城)
趙仁衡() 朴今子(全南·求禮)
安斗會() 李揆順()·錦山)
丁漢洙(鎮安) 許奇順(서울·城東)
李鍾九() 朴惠京()·本部)
柳東植() 林哲順()·九里)
姜丙卓() 朴順子(慶南·密陽)
崔洛命() 鄭會男(慶北·大邱)
羅得柱() 鄭英順(京畿·龍仁)
李在奉() 곽순자(全北·完州)
李炳述() 趙淑貞()·東大門)
李允炯(茂朱) 朴玉鉉(京畿·華城)
金容珠() 俞永花(忠北·忠州)
薛三洙(淳昌) 李明順(京畿·利川)
朴晟雲() 安吉子(忠南·唐津)
丁海雲() 鄭明愛(서울·道峰)
孫鍾烈() 金點禮(慶南·固城)
權昌周() 吳台順(서울·本部)
徐漢七() 金敬花(慶北·大邱)
薛相玉() 廉點德(全北·全州)
尹康老() 鄭鎮愛(慶南·密陽)
朴彩珍() 李敬赫(京畿·仁川)
金三採() 徐順伊()·)
金容根(完州) 權順年(慶北·漆谷)
梁太鎮(長水) 柳君子(서울·九里)
林成根() 許好子(慶南·咸安)
梁鍾圭() 李貞海(서울·東大門)
李逢春(裡里) 李京順(忠南·保寧)
俞智植() 文賢宣(全南·麗水)
白昌善() 河英姬(忠南·太安)

高光烈() 金亨淑(서울·九里)
李重熙() 洪德杓()·本部)
朴炳八(任實) 홍순기(全北·鎮安)
林泰洙() 姜英淑(서울·九里)
姜年錫() 宋玉基()·)
梁鍾湖(長水) 金愛順(全南·長城)
曹在萬(全州) 洪南順(서울·永登浦)
朴在烈() 金貞子()·里門)
朴光深() 林正任()·城北)

全南教區

曹本煥(光州) 朴淑敬(慶北·大邱)
李起文() 金淳應(忠南·天安)
金永淳() 丁善心(京畿·加平)
廉明洙() 辛玉壽(서울·城東)
林宗煥() 徐京任(忠南·瑞山)
金東局() 南愛淑(京畿·議政府)
金炫植() 李惠昇(全北·全州)
丁海雄(木浦) 金順玉(慶北·南大邱)
盧永吉() 柳淑姬(서울·九里)
李連實() 崔貞和(慶北·軍威)
金淳太(麗水) 白英順(慶南·密陽)
李信基() 姜祐善(忠南·牙山)
李昶崙() 尹宗林(忠北·清原)
朱秀鍾() 梁桂子(忠南·大田)
朴炳彥(順天) 林貞順()·燕岐)
柳在景() 鄭珍順(서울·九里)
金政日() 趙恒姪()·西大門)
李漢圭() 慎今淑(慶南·釜山)
金相喜() 金淑子(忠南·大田)
鄭東奎() 崔己順(서울·本部)
趙泰洙() 金玉伊(慶北·軍威)
楊春鍾() 趙泰玉()·東大門)
李得炯() 潘金順(서울·永登浦)
金容煥() 朴商女(忠北·曾平)

黃善夏(順天) 金貞順(慶北·尚州)
趙泰翼() 閔慶子(江原·洪川)
趙淵童() 裴英子(全北·全州)
趙祚勲() 南貞淑(서울·永登浦)
李永祚() 金玉南(全北·南原)
崔寅永() 白成南(全南·寶城)
金在元() 李錦子(全北·全州)
鄭奎奎() 黃貞源(全南·潭陽)
崔鍾福() 禹性鶴(서울·九里)
趙京元() 吉英淑(忠南·錦山)
鄭基道() 金貴順(慶北·醴泉)
李和植(濟州) 殷粉喜(忠南·大德)
吳世益(高興) 林順福(서울·本部)
宋洛桓() 金禮淑(忠南·牙山)
金秀容(靈岩) 尹順德(全北·長水)
曹玉根() 徐必順(慶北·大邱)
李昊烈(완도) 朴鍾淑(서울·本部)
安秉權(寶城) 梁正玉() 九里)
曹今錫() 李順基(慶北·金泉)
徐在宣() 盧明淑(서울·本部)
黃義得() 鄭鎮玉() 九里)
林長煥() 具英子(忠北·鎮川)
許基福(咸平) 吉英子(京畿·城南)
金輝男() 朴光熙() 金浦)
金佑基() 金奇順(忠南·錦山)
宋仁甲() 李炳禮(忠北·清原)
金功洙() 富田七生美(서울·本部)
黃相淵(和順) 裴玉順(全北·裡里)
柳昌鉉() 延順福(忠南·燕岐)
蘇秉培(光山) 韓京姬(서울·長安)
河義文(光陽) 李玉準(全北·金堤)
金永文() 孫淑子(서울·永登浦)
朴魯文() 吳正子(忠南·禮山)
崔鍾萬(長興) 姜仁德(서울·永登浦)
金善白() 李貞任(京畿·加平)
辛東根() 金道華(慶北·大邱)

李容道(珍島) 金在淑(京畿·高陽)
河時鎬() 全漢福(서울·城北)
金宜璋() 金亨子(全南·潭陽)
李洪珠(羅州) 金玉順(서울·龍山)
金容國() 張末順(全北·井邑)
金永哲() 崔允禮(全南·求禮)
金鍾日() 朴佳娘(全南·羅州)
南基東() 李琴連(江原·原州)
姜東春() 李璟順(서울·九里)
全忠鉉() 黃點順(全南·和順)
金正萬(務安) 鄭炳任(全南·順天)
裴英雄() 皇甫必安(慶北·大邱)
金判九() 朴順姬(忠北·報恩)
林宗附(求禮) 鄭善淑(全南·順天)
高相浩() 金福順(江原·華川)
全德濟() 李翊姬(慶北·英陽)
李圭喆() 趙花順(全南·順天)
曹基鍾(長城) 趙吉子(全北·全州)
孔開鍾() 李玉姬(慶北·安東)
梁于錫(谷城) 申春子(全南·光州)
朴世云(潭陽) 金長順(京畿·廣州)
申潤五() 李京玉(京畿·仁川)
趙甲鍾() 李素旼(忠北·堤川)
金三炫() 金英順(慶北·安東)
姜福秀() 朴貞淑() 大邱)
黃光顯(靈光) 金漢宣(서울·中區)
朴珍爽() 徐仁煥(慶北·聞慶)
韓基成() 崔銀淑(江原·黃地)
朴炳律(順天) 金學子(慶北·尚州)
丁吉鎮(和順) 宋敏子(서울·城北)
金永玉(康津) 朴永祚(京畿·仁川)
金明烈() 崔陽順(忠北·陰城)
梁双烈(求禮) 金貞淑(京城·安養)
金相模(潭陽) 朴淑伊(慶北·大邱)

慶北教區

蔣斗在(大邱) 金畢教(忠南·錦山)
文再均() 辛貴男伊(慶北·尚州)
朱尚淑() 羅炳姬(忠南·扶餘)
李東春() 朴楨海(慶南·釜山)
朴淳哲() 李和永(서울·道峰)
朴浩用() 崔相玉(慶南·金海)
李文基() 鄭順玉(全南·谷城)
朴泰鳳() 尹順玉(忠南·牙山)
金時淵(東大邱) 金貞女(全北·鎮安)
李熙大(大邱) 李玉善(서울·九里)
朴泰旭() 南香任(全南·高興)
金東讚() 전효숙(서울·城東)
李漢京() 金良子() 東大門)
李長遠() 金順任() 九里)
金貞浩(南大邱) 咸貞姬())
李茂植() 朴基順(慶北·軍威)
黃鍾英(大邱) 朴賢淑(全南·潭陽)
朴範柱() 金順子(서울·九里)
梁承模() 申惠淑() 西大門)
金善在() 趙惠淑(江原·春川)
崔松雄(浦項) 朴快淑(慶北·大邱)
金海珠() 趙順心(全南·順川)
李武煥() 朴鍾淑(忠南·大田)
李相俊() 鄭玉子(京畿·平澤)
金容權() 李 九(全南·潭陽)
金龍夏() 林玉年(全北·全州)
金有植() 黃海玉(慶北·醴泉)
金大坤(慶州) 金順年(서울·九里)
羅永鎬() 白春姬(京畿·高陽)
朴裕春() 金順女(서울·九里)
成洙桓() 朴志恩(全南·長城)
朴世用(金泉) 禹英子(京畿·廣州)
朴福用() 蘇順玉(全北·全州)
張鉉洙() 尹京子(忠南·唐津)

柳明洛(安東) 申正熙(서울·中區)
金東虎() 李貞淑(全北·扶安)
李聖光(遠成) 金孟禮(慶南·密陽)
尹奎煥(軍威) 金正禮(全南·麗水)
李浩德() 裴甲點(慶南·山淸)
李源明() 李泰任(서울·永登浦)
金載玉() 金鎬秋(京畿·加平)
丁在榮(義城) 崔粉伊(서울·城東)
洪泰植() 宋順德(京畿·安養)
金吾植(青松) 李順南(서울·永登浦)
李和伯() 金根福(江原·春川)
張相河() 尹鳳順(서울·城北)
申世琬() 李雲子(忠南·青陽)
崔秉台(英陽) 李榮技(全南·靈岩)
金五文(盈德) 鄭蓮和(서울·本部)
鄭相壽(永川) 李鎮蘭(忠南·瑞山)
鄭春澤(慶山) 張壽子(慶南·釜山鎮)
李善烈() 杜玉信(全北·群山)
崔正得() 金淑子(慶北·慶州)
李燦雨() 朴明子(서울·九里)
朴明壽() 李明淑() 城東)
朴志一(淸道) 姜和英(全北·群山)
朴裕守(高靈) 林敬順(全北·群山)
全煥植() 李鎮文() 扶安)
都在珍(星州) 李正學(全南·麗水)
元敬淵() 柳基玉(慶北·安東)
劉双烈() 朴吉子(忠南·洪城)
朴正柱() 金貴順(慶南·密陽)
梁昌錫(漆谷) 李玉連(京畿·仁川)
白暎佑() 崔玉淑(서울·城北)
姜孝榮(善山) 金炳順() 九里)
姜誠榮() 吳明淑(忠北·淸州)
徐炳秀() 朴明順(서울·九里)
朴建相() 鄭令姬(忠南·錦山)
李昌培(尚州) 金玉子(慶北·浦項)
榮孫培() 金知連(忠南·大田)

徐基洪(聞慶) 白明才(慶北·大邱)
車願道() 朴賢柱(서울·九里)
張炳卓(醴泉) 金梅實(京畿·平澤)
權秉卓() 李海實(서울·城東)
申東肅(榮州) 朴貞順(慶北·金泉)
羅昌吉() 梁畢連(서울·本部)
權光在(奉化) 朴英禮() 九里)
張雲夏() 申淑贊(慶南·晉州)
金永泰() 朴榮淑(京畿·富川)
林點東() 朴順植(慶南·金海)
李相烈() 李順熙(忠南·錦山)
金容俊() 王季順(慶北·大邱)
姜泰俊() 李慶仙(忠北·淸州)
金龍漢() 崔寅任(서울·九里)
洪善杓() 李賢淑(서울·九里)
洪淳岫() 方甲培(江原·華川)
金英錄() 崔美順(京畿·金浦)
朴明珍(蔚珍) 林順玉(서울·西大門)
孫泰榮(大邱) 李光子() 九里)
郭亨鐸(遠城) 姜愛子(全北·井邑)
姜聲奉(永川) 金漢順(忠南·扶餘)
金福萬(東大邱) 睦鎮淑(京畿·利川)
朴萬龍(軍威) 李月順() 金浦)

慶南教區

朴炳武(昌寧) 趙明玉(京畿·華城)
金武圭(山淸) 金瓊喆(全北·全州)
襄一漢() 鄭惠淑(慶南·山淸)
李相烈() 金斗女(京畿·仁川)
李炳春() 林仁淑(서울·本部)
林采律(陝川) 金明姬(全南·咸平)
金炳華() 이희옥(서울·本部)
金永赫() 朴善春())
安德鎬(咸安) 金貞淑(京畿·仁川)
金昌煥(固城) 金映義() 淸州)

李相采(固城) 車恩慶(서울·本部)
車英守() 金啟貞(慶北·大邱)
朴春實() 安熙禮(忠北·淸州)
金漢基() 金占順(全北·淳昌)
李晚植() 朴蘭淑(서울·城北)
權贊榮(釜山) 河永結(全北·裡里)
金應龍() 小林ミチリ(서울·東崇)
吳琰澤() 金萬順(慶北·尚州)
李昌右() 劉貞女(서울·城北)
都成會() 梁紅子(京畿·金浦)
許日九() 朴錦淑(江原·麟蹄)
鄭允根() 林在順(忠北·沃川)
李楨甲() 梁殷淑(全南·羅州)
朴盛淳() 池蓮子() 寶城)
具東淑() 李善姬(忠北·永同)
朴龍泰() 金禮順(慶南·釜山)
金桂鉉() 崔光子(京畿·廣州)
孫炳崙() 金南花(서울·城東)
李善來() 延金玉(江原·華川)
金尚燮() 張永姬(서울·里門)
李判載(釜山鎮) 具惠淑(慶北·大邱)
崔東安() 趙良順(全南·順天)
李鍾孝(馬山) 李壬先(慶南·馬山)
金洪柱() 李敬順() 河東)
辛明基() 尹順愛(慶北·大邱)
張鉉善() 安文姬(서울·城東)
朱守用() 鄭春玉(慶北·奉化)
朴新在(河東) 鄭蓮玉(서울·九里)
黃點鎬() 金善子() 城東)
曹榮植(密陽) 李正學() 本部)
金相龍() 金貞禮() 九里)
李在衡() 朴福順(慶南·咸陽)
千錫柱(三千浦) 印明淑(京畿·安養)
金英秀() 李貞烈() 安城)
金相守() 崔今述(慶北·奉化)
李龍雨() 金順子() 大邱)

姜玉源(三千浦) 池福姬(서울・九里)
 朴寅澤() 川口千代子()・本部
 李玎根(忠武) 金慶淑()・麻浦
 朴東潤() 南淑花(慶北・尚州)
 金學正(泗川) 李圭明(京畿・議政府)
 李根培() 金今順(서울・九里)
 崔泰鄉() 河英南()・)
 金三文() 鄭順德(全北・淳昌)
 尹允篤() 金蘭英(京畿・坡州)
 洪相福(釜山) 李敬男(서울・城北)
 羅仁煥() 金石祚(京畿・廣州)
 張永權(咸安) 尹貞喜(서울・九里)
 權實雲() 崔鎮順()・麻浦
 李鍾三(宜寧) 李潤玉(慶北・南大邱)
 朴貞相(晉州) 吳明鉉(江原・鐵原)
 金相珍() 李順祚(慶南・咸陽)
 金炳華(居昌) 黃五木(全北・扶安)
 許鎮植(蔚山) 柳貞子(서울・道峰)
 趙宇奎(金海) 康順求(忠南・保寧)
 朴章燮(鎮海) 李貴順(慶南・金海)
 金成洙(巨濟) 李順子(서울・中区)

在日僑胞

高博光(日本) 辛光子(在日僑胞)
 鄭千壽() 都政淑()
 鄭光壽() 吳明美()
 高昌秀() 金順子()
 金福富() 沈明子()
 權容一() 姜華禮()
 金成甲(日本) 姜榮子(在日僑胞)
 李博司() 李夢子()
 林慶孝() 姜洋子()
 沈明燮() 崔英淑()
 윤大辰() 黃金仙()
 高東明() 都明淑()

李益雨() 金銀洙(서울・本部)
 金和成() 金双德(慶北・大邱)
 吳上坤() 韓貞愛()・慶山
 李判雨() 朴경子(忠北・報恩)
 李和明() 清水久美子(日本東京)
 高吉南() 松山詩せい子()
 李惠吉() 權貞順(서울・九里)

追加名單

金孝律(本部) Phyllis Yamato (美國)
 Kim Hyo Yul(Korea) (America)
 金鍾文() Lynne Dorfler ()
 Kim Chong Moon
 李集春(群山) Emilia Steberl (奧地利)
 Lee Jip Choon (Austria)
 許萬碩(本部) 中野吉子(日本・東京)
 鄭仁錫(九里) 郭有任(京畿・水原)
 金相益() 朴順南(서울・本部)
 朴慶煥() 李景淑(慶北・大邱)
 鄭聖範() 崔銀子(京畿・華城)
 鄭水衍() 卞仁孝(慶南・密陽)
 金奉主() 崔賢淑(全北・裡里)
 柳寅協(教授) 李仁順(京畿・水原)
 林文洙(永登浦) 卞慶子(서울・本部)
 宋珉錫(麻浦) 朴吉子()・城北
 金龍華(議政府) 朴孟今()・東大門
 李鏡魯() 徐行女(경북・大邱)
 崔鍾大(鎮川) 奇賢淑(서울・城東)
 朴昌模(大田) 鄭在淑(京畿・加平)
 金炳厚(光陽) 金順子(경북・盈德)
 宣亮淑(寶城) 羅芬女(全北・高敞)
 徐良奎(麗水) 金鍾蘭(서울・九里)
 李政柱(潭陽) 朱英愛(全南・高興)
 洪淳河(江原) 鄭湖順(경북・奉化)
 崔廷均(華城) 柳錦子(서울・永登浦)
 朴載鎬(九里) 崔明順(경남・泗川)
 朴永桓(固城) 鄭경任(忠北・清原)

日 本

秋月武彦 (三栗谷真理子)
 新井凱壽 (渡合純子)
 東 宏 (福井久子)
 青木賢次郎 (上原悦子)
 赤澤隆雄 (佐野 薫)
 東 正一 (佐竹千代子)
 新石正城 (川北美智子)
 相澤 徹 (小松原敏子)
 荒 教 (春日靜枝)
 庄木光昭 (岡田千恵子)
 赤石 肇 (藤原陽子)
 淺井平康 (穴戸康子)
 青木一哲 (箭内由子)
 荒川敏克 (田中澄子)
 淺野 修 (弓場和子)
 荒木仁史 (小木曾里美)
 淺井誠次 (岡崎雅子)
 安那 京 (神越惠美子)
 淺井武司 (美山みち子)
 阿部 裕 (清水洋子)
 庄田重晴 (山口美代子)
 荒木秀一 (村山由紀子)
 荒井雅夫 (加藤多鶴子)
 秋吉秀樹 (長田廣子)
 安西 洋 (甲斐田房子)
 石井守正 (岡 克)
 井上治郎 (吉井光代)
 池田恒夫 (津島直子)
 石田耕六 (池田美穂子)
 稻島嶺章 (岡野良子)
 井本英雄 (片岡千代子)
 稻葉佐太郎 (松木ちか子)
 石井 清 (向井順郎子)
 岩田幸廣 (齊藤弘子)
 池田高明 (船垣長代)
 今井弘士 (岡崎妙子)
 飯山 忠 (村田和子)

岩城 稔 (佐藤美津子)
 猪瀬 洋 (池田初根)
 伊藤幹夫 (藤田俊江)
 井上善久 (浜田キミ子)
 岩木 工 (小野和枝)
 伊藤儀博 (三枝洋子)
 井田幸二 (高橋みどり)
 井上清治 (大江桂子)
 石井孝政 (堀原潤子)
 五十嵐順一 (大畑 都)
 岩松敏二 (小林ちなを)
 岩大路邦夫 (柳田とろ子)
 稻森一郎 (上月幸子)
 池田義則 (鴛崎弓子)
 井上博明 (藤原咲子)
 伊藤憲一 (岡田敏子)
 岩城宗壽 (尾上純子)
 岩橋重昭 (手島博美)
 池本和久 (富山悦子)
 泉川直樹 (小山律子)
 石川 仁 (吉田京子)
 石川 剛 (堀越秀子)
 市原 明 (西戸笙子)
 岩田恒夫 (今村由美子)
 岩崎隆昭 (上野けい子)
 石川 敏 (三原惠理子)
 市原和茂 (井上あさこ)
 池尻信夫 (富田秀子)
 諫山正博 (藤原ふみ子)
 妹尾 進 (伊藤むつ子)
 石住和則 (藤井やよい)
 井上勇次 (伊藤裕子)
 岩澤春比古 (森田富枝)
 池元 清 (高橋榮子)
 伊勢谷俊昭 (河本明美)
 井口靖雄 (北田明子)
 石原 悟 (佐藤恭子)

市川克英 (菊池千代子)
 五十嵐信博 (土屋れい子)
 伊藤和利 (別府博子)
 伊藤哲二 (山 民子)
 伊東光二 (鎌田ミツコ)
 池村治壽 (大谷惠美子)
 井上重信 (北野八重子)
 板垣 徹 (淺地美空)
 上原健二 (吉本妙子)
 打方藤昭 (林 親子)
 後田 稔 (長谷川節子)
 内田 護 (天野由美)
 上島範昭 (永井真理子)
 内野 宏 (能祖圭子)
 上田光明 (古賀ヨシミ)
 梅宮茂夫 (朴美和子)
 上野俊行 (足立澄香)
 宇野泰光 (荒戸愛子)
 宇都宮寛 (加藤幸恵)
 魚井良人 (竹下のり子)
 浦野真一 (鹽澤美知子)
 宇野政男 (花田喜代)
 梅田信一 (萩田悦子)
 宇留賀雅弘 (大西美恵子)
 江頭司善宏 (福木ときあ)
 惠藤洋治 (山崎直子)
 江原秀敏 (中筋恵都子)
 大原芳明 (宮川 翠)
 大山哲夫 (片多みつ子)
 大野 隆 (工藤愛子)
 大庭 清 (山内恵子)
 岡光修一 (笹部照子)
 大實啓司 (上杉洋子)
 長田吉次郎 (花岡陽子)
 奥村 宏 (増田静子)
 大藤榮造 (津野弘子)
 大澤聖一 (田邊厚子)

岡 憲夫 (川村春子)
 大和田法生 (伊藤信恵)
 大橋平一 (鹿山觀美)
 大元勘治 (山口妙子)
 尾尻哲朗 (下山史子)
 小田原隆弘 (佐藤幸子)
 大野益靖 (森井正子)
 大久保義孝 (川面豊子)
 岡本一郎 (小林啓美)
 尾原和義 (池田千英里)
 岡村信行 (松田悦子)
 大島秀幸 (萩尾真弓)
 小川清 (横井幸子)
 尾畑敏郎 (加藤澄子)
 小野義信 (安田愛子)
 小瀧正義 (近藤緝江)
 奥村哲夫 (篠原真澄)
 大田正規 (宮原由紀子)
 越智義男 (高山俊子)
 大越生長 (岩崎喜美江)
 大江益夫 (木暮多津子)
 尾崎政水 (永井美代子)
 大原正治 (植草きよこ)
 岡本清史 (松本京子)
 大畑信雄 (榊原恵子)
 奥村順一 (横山恵美子)
 尾關耕二 (高村たづ子)
 大沼 勝 (市橋千世子)
 岡藤昭夫 (桑原愛子)
 奥村俊惟 (丹野由子)
 小田文雄 (池田三紀子)
 小笠原昇 (渡邊安子)
 大田憲一 (熊原由枝)
 岡田一樹 (佃美穂)
 小倉美雄 (福岡貴志代)
 岡 幸治 (菊川美晴)
 大内啓治 (近藤紀美枝)
 小倉和博 (永友麻里子)
 小野寺兼一郎(加藤千鶴子)

岡田久雄 (山崎英子)
 小野良二 (藤井隆子)
 小笠原廣 (川川由美子)
 大場良一 (大島利江子)
 大橋 徹 (塚木すき子)
 川瀬芳朗 (阿部和子)
 川村秀口 (北野洋子)
 川久保祐一 (草加慶子)
 上村 清 (木戸節子)
 河村恭行 (板山正子)
 數田續明 (岡田美美代)
 加納 章 (田中昭子)
 川中善光 (近藤幸子)
 金子哲夫 (和田民子)
 川口康生 (鈴木和子)
 兼子孫芳 (坂井田啓子)
 柿崎俊行 (阪口壽代)
 河上 正 (袂井英子)
 笠田 圓 (福田定子)
 勝田 悟 (山崎晶子)
 角田榮三 (小笠原節代)
 神吉秀明 (千葉久仁子)
 相葉芳孝 (松尾緑)
 垣内廣身 (川口友子)
 金丸敏生 (東川洋子)
 蒲生 明 (毛利田洋子)
 河原伸夫 (中野早苗)
 菅野 勲 (高木恭子)
 金谷孝則 (田口ひろ子)
 椋島敏行 (野木玉枝)
 加納吉朗 (板美孝江)
 鎌田正男 (鎌田純子)
 可部道憲 (今井松子)
 角田道紀 (堀木純子)
 神野五徳 (尾利政子)
 鎌谷賢治 (大場恵久子)
 金子正英 (酒井フミ子)
 川瀬常義 (藤木敬子)
 北村鎮雄 (島 吉子)

北田 喬 (西村邦子)	倉田文平 (井口サチ子)	小室喜代行 (小林美知子)	佐々木昭作 (皆川美喜子)	鈴木正行 (木林ふさ子)	高嶋和雄 (關根文江)	觀谷 稔 (天田益代)	永澤有一 (根岸芳子)
北山敏明 (小野俊子)	黒田隆明 (古賀幸枝)	小倉哲雄 (柏村悦子)	佐々木春人 (淺野令子)	鈴木博道 (柿木才次代)	谷口正彰 (下山順子)	塚澤博志 (山田紀子)	長沼 純 (松田晶子)
北口忠雄 (増田洋子)	久保榮造 (須山由美子)	木暮勝夫 (栗田妙子)	座間保裕 (森美津枝)	鈴木 正 (平野由美子)	高取寿夫 (小木曾洋子)	土屋吉範 (島田富美子)	南原典天 (日南早代子)
木村良雄 (石川京子)	久保博昭 (柴田正子)	後藤 勇 (藤井みほ子)	澤山伊知朗 (浜上啓子)	杉本公人 (吉田末子)	高柳信博 (加藤利子)	榊木俊二 (谷口美穂)	中井重幸 (三枝秀子)
桐山和弘 (菊和良子)	回家重徳 (古山裕子)	佐桑 孝 (池田トシ子)	酒井達夫 (八百板敏江)	未原 勉 (高橋直美)	玉野敏夫 (用村真知子)	露久保守 (田中登志恵)	永吉廣和 (長谷川忠美子)
木島 豊 (山本温子)	楠 徳 (西きよこ)	佐藤 淳 (關谷繁)	笹本悟弘 (杉江知恵子)	鈴木 明 (細谷芳子)	多田則明 (池上登志子)	達 潔 (十川多美子)	中村文雄 (江下加代子)
京島祥起 (小川孝子)	小寺健治 (阿道雅美)	佐藤次夫 (遠山ひで子)	佐藤 仁 (吉田マツ子)	鈴木 博 (松島弘子)	瀧澤恵一 (永澤美知子)	土江正記 (北田よし子)	中山和男 (仲和子)
木股金市 (渡邊久子)	小林正勝 (荒尾泰恵)	佐野邦雄 (長坂テツ子)	定光孝義 (戸田禮子)	錫村良章 (前田君子)	谷脇 憲 (柳澤いく子)	北田利男 (丸山せつ子)	中村壽則 (早川吉子)
菊池博生 (井の山美智江)	小林常雄 (宮崎春子)	佐藤公基 (飯島祐子)	酒井 顯 (堀田千加枝)	杉原 一 (長野有ふ子)	高島幸司 (伊藤節子)	鶴巻 博 (高田三穂)	永井健夫 (秋元芳子)
金城幸敏 (佐竹悦子)	古森洋治 (新木知恵)	三枝孝之 (伊藤和江)	神保正光 (井上宜子)	鈴木長三朗 (本郷あい子)	立野存信 (鷗邊帝子)	寺坂文明 (佐々木川子)	長澤行孝 (河内千代子)
北村健治 (川上ミヨ子)	小峰廣資 (中村博子)	佐藤則雄 (平出教枝)	白石弘志 (都美子)	鈴木 明 (弓削和子)	高島正男 (岡野夕美)	戸巻昌介 (工藤弘子)	南部文人 (金垣知代理)
近 直樹 (中島恭子)	小林昌輝 (松石仁子)	佐藤正昭 (笹山せつ子)	柴川利春 (田口智子)	諏訪部典久 (丸山和子)	丹家孝志 (池田久子)	峠本月三 (路島和子)	中村健次郎 (羽根千代)
菊谷清一 (水口こざえ)	後藤登久美 (溝淵教子)	崎田甲一 (中澤玄江)	島田博史 (橋本孝子)	鈴木岩男 (古谷幸子)	高橋敏治 (小林富代子)	殿所昇二 (吉田弘子)	長澤法長 (皆川洋子)
木村直晴 (鶴坂照代)	小坂清身 (佐藤由紀子)	猿渡良平 (中村光子)	鹽澤敏雄 (牧野春江)	鈴木嘉久 (吉中留美子)	伊達勝見 (田所なほ子)	塔野義明 (佐々木康子)	成田 行 (豊田えみ子)
木村耕造 (和氣幸子)	越川博行 (熱田素子)	先山 修 (松永八千代)	清水遠雄 (秋未充)	關口泰弘 (福田良子)	田添省吾 (高橋洋子)	戸石文夫 (佐藤葵子)	西 邦男 (飯塚節子)
岸田卓 (深田恭子)	河野澄夫 (伊藤安子)	坂本省三 (小笠敬子)	嶋 和男 (黒崎豊子)	關裕 和 (種谷好美)	武田忠久 (宇賀神悦子)	土井隆平 (長谷川マリ子)	西嶋 徹 (吉澤正江)
北川澄志夫 (澤田美枝子)	河野樹夫 (川島玲子)	佐藤正嬉 (金谷れい子)	柴田信男 (佐藤百合子)	世良英明 (川端愛子)	高井昭太郎 (増淵はる美)	富山秀雄 (前橋純子)	西尾利逸 (福光圭子)
幾度秀敏 (竹内榮子)	後藤真一 (中岡安子)	佐藤頼司 (森まさ子)	白井民夫 (小金澤榮子)	園田康夫矢 (木廣千代)	高橋清二 (夏坂知子)	時田道雄 (石川ちづ子)	西川壽男 (堀越聖子)
清原勇治 (嵯峨禎子)	駒形幸三 (浦野美恵子)	齊藤俊茂 (長谷川裕美)	澁谷清一 (松原晶美)	十川友一 (矢野ラン子)	立部直樹 (小澤恵美子)	豊田 博 (戸田真弓)	西川光美 (佐々佳代子)
東住 潔 (山根昌子)	小泉信一 (井澤君代)	佐藤正克 (三木加代子)	新保邦治 (長崎啓子)	相武隆男 (高谷陽子)	谷 英樹 (知念尚美)	東野正義 (草間孝子)	西嶋房男 (高橋静枝)
北原周次 (田中 環)	小島 昇 (奥田幸子)	佐野 修 (鬼澤恵子)	鹽崎哲司 (中川道子)	高橋芳雄 (鈴木昭子)	田中邦治 (中村知恵子)	留田哲夫 (石井和子)	西村繁喜 (上中いく代)
北爪留男 (松永美枝子)	小寺真一 (長崎潤子)	佐野道准 (前川公子)	下口 進 (國分豊子)	高橋芳平 (吉田靖子)	高本健郎 (立野君江)	富山勝美 (伊藤準子)	西依三徳 (渡邊了子)
木下義昭 (市花美枝)	小堀外志人 (泉裕子)	佐藤尚芳 (小室敏子)	鹽澤隆治 (大西千賀子)	高橋進一 (中島和子)	竹内敏明 (長谷時子)	富原盛哲 (近藤かを里)	西澤利明 (松原孝子)
北澤敏彦 (飯田愛子)	近藤敏克 (八幡貴美江)	佐藤民雄 (仲村みどり)	鹽澤 修 (高橋裕子)	谷口忠誠 (大領孝子)	題府志郎 (望月光江)	徳廣泰雄 (八道真里)	西川伸治 (横山繁子)
倉田由一 (曾根政子)	小林昭夫 (田ロアイ子)	齊藤俊明 (中林美恵)	鹽見 正 (石橋麻子)	高桑勝也 (吉村ゆみ子)	田村成生 (藤森智恵子)	中神 實 (五十嵐りは子)	西川勝久 (平崎悦子)
栗原利治 (森志津子)	小林登一郎 (加納瑠美子)	佐々木達雄 (丸居悦子)	重廣 誠 (山本紀子)	高山 護 (前田順子)	田中壽生 (森田かずこ)	奈須勝利 (萩原美保子)	西澤孝和 (石谷悦子)
葛上 勇 (山崎節子)	古賀昭三 (伊藤あつ子)	佐藤光男 (大中みち)	白鳥光雄 (浪江信美)	谷岡信一 (鹽柄雅子)	竹林春夫 (甲地恒子)	中西元幸 (森本りえ)	西村憲義 (山田則子)
倉原孝一 (有原恵子)	小杉武夫 (鬼山いとみ)	佐藤經行 (細谷文子)	下野繁美 (吉田裕見子)	高橋昭三 (兵藤容子)	田中津敏 (平良初子)	永井 博 (黒澤久子)	西口善久 (西浦康子)
倉 康夫 (尹福南)(韓国)	小島健一 (花岡妙子)	按尋志 (古川寿美子)	白尾知行 (内藤幸子)	田添謙之輔 (湯村幸子)	田村正富 (浦井悦子)	成畑豊造 (野田昭子)	西嶋和人 (京屋恵美子)
熊谷 博 (多田美恵子)	河野義英 (美山澄水子)	阪井義治 (關榮)	下村以鎖亞 (秋山美恵子)	田島康雄 (山本みな子)	田口昭己 (吉留真理子)	中村嘉夫 (長田千穂子)	西尾 一 (黒木スサ子)
倉林 努 (中村明美)	小林輝美 (明神さち子)	酒寄久美 (小根房子)	清水忍行 (戸石まり子)	竹内清治 (安達幸子)	山中俊博 (北原久子)	中島十三郎 (小川香代子)	根橋一治 (橋本喜代子)
桑田昌和 (原脇輝子)	小牧照明 (川ヌ久美子)	佐竹 實 (石黒かずこ)	新開 修 (八巻廣子)	田口 稔 (保刈信子)	高橋文男 (仲野やい子)	中村憲親 (水戸つるゑ)	根本榮治 (鷹野千賀子)
桑原繁宗 (川島千代)	小松誠一 (坂本とよ子)	佐藤貞美 (鶴巻正子)	菅原 暁 (谷章子)	丹波道彦 (岡村美江)	武田吉郎 (竹内美恵子)	中野正宏 (渡邊和子)	野田 治 (高田禮子)
熊谷健一郎 (金子みよ子)	近藤文一 (永井マツ子)	齊藤豊穂 (小松原房子)	菅沼秀明 (渡邊亮子)	田中宗昭 (仲見敏子)	田淵幸生 (加来孝子)	仲宗根毅 (高田京子)	野村道秋 (岩瀬美重子)
國時昭彦 (吉野幸子)	小松康男 (河合美知子)	坂見寿三 (松西千代)	廉田徳勝 (藤澤洋子)	高山直行 (堀内滋子)	玉田 勝 (松橋陽子)	中郷政延 (加藤清美)	野木 隆 (佐々木美代子)
杏樹秀一 (齊藤由利子)	小出正明 (河野路子)	佐藤 進 (冷水幸子)	鈴木幸信 (關イネ)	館盛 晃 (茂木清美)	上井忠征 (太滝昌子)	永山英秋 (岡田洋子)	野田 一 (森川君子)
杏澤正明 (富樫美喜)	小林重一 (佐々木光子)	笹田俊明 (山本信子)	杉山富之 (齊藤美代子)	高橋正博 (岩崎萬里子)	塚本義雄 (前二滝友子)	中村榮一 (吉澤由美子)	野崎俊雄 (五十嵐夏枝)
久保健司 (千葉徳枝)	權藤俊博 (西出節子)	坂本春夫 (森安初江)	須永哲夫 (河野孝子)	高塚純一 (篠原滋子)	圓谷重雄 (長野純子)	長友清治 (堀内明美)	野尻光茂 (中村順子)
久留憲治 (中山とし子)	溝口健二 (齊木志津代)	佐久間章 (右近久恵)	鈴木真吉 (海蔵恵美子)	高橋秀夫 (大本嘉子)	塚山正夫 (田川則子)	中川光範 (西山悦子)	能井一則 (三浦喜久子)

野田育良 (百瀬留美江)	日高裕明 (小宮山よし子)	町野新太郎 (冲殿孝子)	三宅信輝 (三代由紀)	筋井口雄 (向井千代)	山田俊道 (佐藤美南子)	渡部信 (岸木すみ子)	戸丸廣安 (穂垣とし子)
野並三秋 (増本泉美)	平沼讓治 (橋本優子)	松本孝二 (清水里枝)	宮本憲英 (金恵子)	村上克志 (菅原悦子)	山隈勝信 (渡邊愛子)	渡邊和男 (佐々木寛子)	馬場英敏 (飯村菊代)
野田啓介 (長田千代)	弘重正嗣 (皆川麗子)	松葉純一 (田中芳子)	溝口勝比古 (千種寿子)	村上雅博 (田沼一葉)	山田健吉 (高松準子)	若林信正 (日野房子)	寺岡平和 (小山由美子)
野村 忍 (尾崎陽子)	平田 實 (阿部ひろ子)	牧野先男 (佐藤百合子)	美才治早雄 (河野桂子)	村尾英明 (木藤洋子)	山下由真 (水間日理恵)	渡邊乾 (林明淑)(韓)	園師義繼 (井上美智子)
浜林規行 (井上孝子)	平山富雄 (田村厚子)	松倉保正 (柳蘭姫)(韓國)	宮原 享 (御子具愛子)	室谷芳延 (佐藤勝子)	大川東榮 (佐古田幸枝)	和田良二 (松本陽子)	真野耕太郎 (野島美知子)
原田 茂 (千葉桂子)	廣 義昭 (安井絹代)	前田義明 (松井加寿子)	三井邦男 (岡崎裕子)	村田登志男 (今井佳代子)	柳谷榮吉 (武田千代恵)	松本富子 (松本富子)	岡島光一 (井上孝子)
早瀬敏弘 (小林美枝子)	日野浩三 (光本きくよ)	増田昭男 (齊田美子)	水野英雄 (林幹子)	向家重徳 (青山裕子)	山本勝 (市岡仁葉)	渡邊俊朗 (宮崎幸子)	松永木男 (松尾千恵子)
長谷川一弘 (西森洋子)	福田之保 (都築千代子)	松本権太郎 (神里洋美)	三井安明 (東川真里子)	目崎久雄 (神津道子)	山根和夫 (小高まゆ美)	渡邊博且 (後藤タミ子)	祖久涼二 (神崎妙美)
橋本茂男 (山口ヨシ子)	古市陸郎 (山根幸江い)	前田 誠 (山口アイ子)	宮城武文 (大貫としえ)	森山 守 (宮腰操)	山田政雄 (長長保子)	渡部純一 (長嶺恵美子)	高橋正治 (野間れい子)
原田 彰 (荒川慶子)	福良義昭 (金順英)(韓國)	松下 隆 (高岡幸子)	溝口一人 (小澤和子)	森田忠雄 (仲川チエ子)	山田忠良 (木熊幸子)	渡邊芳雄 (倉知とみ子)	表 潤 (山口淳子)
原田賢治 (三保けい子)	古屋清利 (柳田政美)	松田治男 (山中君江)	溝田周二 (小泉君子)	森伸 彦 (加藤カスミ)	山本彰 (牧野衣佐子)	渡邊修 (倉知とみ子)	南部良夫 (山口淳子)
林民 雄 (小瀬都美子)	藤岡晴雄 (金子波江)	松原隆昌 (和田ちか子)	薄井泉生 (島田恵美子)	森順 一 (山本久美子)	山田孝一 (岸本たか子)	和山信男 (井出美智子)	柴垣政徳 (石井省子)
針馬利行 (我那覇春美)	古田克人 (田中由美子)	牧野 稔 (福田典子)	三宅繁美 (松井はま子)	森幹 三 (成實初子)	八重隆喜久夫(北岡加代美)	渡邊宗治 (片岡住子)	平野次郎 (喜屋武艶子)
長谷川正博 (田中やす子)	藤田正人 (宮田えり子)	松本雄司 (本間成子)	南端勝人 (大原純子)	百瀬東一郎 (都由美子)	山下崎 (幸塚愛子)	荒谷照夫 (高橋まき子)	倉永隆治 (水井恵子)
長谷川哲雄 (喜多妙子)	秋谷 寛 (宮腰英子)	前屋 均 (秀島恵子)	宮部修司 (山本順子)	森多三郎 (大澤絹代)	山口堅一 (安達治子)	荒木貞夫 (杉本淑子)	長島良夫 (原田恵子)
島山孝男 (森崎早苗)	深見量真 (下原ムツ子)	蒔田幸興 (唐木澤真知子)	南風盛實 (光田アツ子)	茂木文夫 (篠原ミチ子)	八木秀雄 (佐藤比子)	薄井泉生 (島田恵美子)	高橋久夫 (山口津津子)
原田 優 (松田洋子)	藤澤規行 (萩野幸美)	松江芳雄 (黒岩邦子)	三好得然 (山本真紀子)	森裕 次 (楠美津)	山崎良治 (岩田三紀子)	遠藤仁 (朝倉三重子)	倉信彦 (山田房子)
芳賀秀雄 (鈴木喜美子)	富金原敏明 (中根由美子)	松原 章 (渡部廣子)	三島 進 (大橋榮子)	森下國博 (秋本雅子)	山本恒夫 (山下京子)	賀集一也 (笠井篤子)	井口繁喜 (五嶋とよみ)
八反田輝夫 (松永富子)	藤橋健次 (増田美千代)	松山幸治 (宮本貞子)	三浦榮正 (青田正子)	森藤源幸 (加藤美代子)	吉田輝男 (宇佐美良子)	狩又利明 (松下由美子)	佐藤正親 (成田幸子)
早川幹雄 (末松節子)	藤澤邦康 (角谷薫)	前川敏雄 (内山典子)	三谷 明 (春藤一枝)	森本 豊 (川崎キヨ子)	横井保典 (畑ミヨシ)	合田一夫 (熱海成江)	大石秀夫 (三浦悦子)
橋本武志 (青山むつ子)	二橋久雄 (青島厚子)	前田隆生 (松永伸子)	三石昭治 (黒木江里子)	百瀬純司 (千賀裕子)	米田義和 (小休光子)	小下敏明 (蓮成祥子)	鶴 和男 (岡田千恵子)
八幡 剛 (高橋春恵)	藤田 博 (野中千代子)	前田正幸 (三浦啓子)	宮崎 裕 (西尾律子)	矢管健司 (石渡よし)	横關英和 (折高淳子)	岡師義繼 (鈴木洋子)	幸地幸徳 (本多恵美子)
黒田光雄 (萩原昭子)	本間義久 (澤田光枝)	町田松夫 (相馬禮子)	溝西正治 (渋谷山美子)	山岡新吉 (河野桂子)	吉田忠嘉 (唐木正子)	杉本克三 (木村藤江)	増山昇次 (Barbara Snell) (USA)
堀江 隆 (八頭司陽子)	本保 學 (山本富美)	松本秀治 (松本利津子)	宮崎政宣 (西郡とみえ)	矢崎正道 (松島榮子)	吉田宏 (光武マス子)	高野正孝 (片岡節子)	貫川敬 (Genie Larkin) (AUS)
長谷川利夫 (中谷やす子)	星野正恵 (武蔵富美子)	松波克全 (若林加代子)	水野榮治 (高木曉美)	山本 修 (能田久美子)	吉川茂 (橋路榮枝)	出村富雄 (木村文子)	蓉野新一 (Maria Puchas) (AUS)
林幸 夫 (脇坂美代子)	本田武男 (村谷和子)	松井和好 (荒井順子)	宮川政三 (阿部美穂)	山元哲雄 (稲垣令子)	横山近男 (大橋暢子)	中島良介 (津田直子)	長阪隆夫 (Friederika Hoglinger) (USA)
林孝 二 (江口富美子)	堀内秋男 (中野喜代子)	松村誓八 (山口恵子)	都地伸一 (佐々木千津子)	山浦 豊 (横山玲子)	吉村章 (川口英子)	中川義之 (太田初枝)	片倉一成 (Wendy Baker) (USA)
萩野正明 (市元久美子)	細谷文雄 (鈴木由美子)	松永 猛 (森口幸子)	水野義文 (野々部優子)	山崎久樹 (上松ミヨ子)	吉田恒夫 (原たまえ)	浜田武 (増田慶子)	松谷勇 (Peggy Warden) (USA)
洪田直光 (松井康子)	堀次 郎 (山代幸子)	永尾秀久二 (宮垣けい子)	宮澤誠一 (加納京子)	山本文登 (高村弘美)	吉田忠夫 (山中豊子)	馬場正治 (金澤幸枝)	葉正美 (Lisa Martinez) (USA)
長谷川道典 (神谷フサ子)	細川俊一 (瀧山美智子)	丸田千秋 (柴田多美子)	三根將男 (富山享子)	山下尚志 (青木紗知江)	吉田修 (五十嵐千恵子)	長谷川勝秀 (荒木陽子)	
島山憲太郎 (貴田貫美榮)	堀本和博 (櫻井淑子)	丸田榮一 (知陽子)	三國進一郎 (山田さな枝)	八頭司幸男 (高橋可枝)	米山學 (壽山幸江)	渡邊勝人 (森由紀子)	
林順 一 (岡部雅子)	堀川真乘 (川久保博江)	間山信行 (相馬敏子)	三島義人 (小久江悦子)	山口政好 (嶺元清美)	吉田勉 (古本章子)	木村陽輔 (篠田徳子)	
東川 弘 (吉田俊子)	星子孝光 (小野田純子)	増記代司 (今泉肥)	宮本次人 (安藤ゆかり)	山田良三 (深澤幸子)	吉川義治 (野野美紀子)	廣野光雄 (板橋京子)	
桶口都久二 (馬込美地子)	本郷秀伸 (林恵子)	増田 學 (岩崎道子)	宮島道天 (平崎美知子)	山本哲男 (宮原順子)	吉澤誠 (森由紀子)	原美穂雄 (村幸子)	
久野孝好 (金子絹江)	森廣 茂 (有賀加代子)	松井 誠 (草加シズエ)	三船雅啓 (勝又みち子)	山口博幸 (大久保京子)	横井一夫 (連沼邦子)	横山裕史 (山本みち子)	
平坂彰成 (二葉みさ子)	堀江謙二 (原くに子)	牧 秀人 (小田あつ子)	村上敏男 (松井志津子)	山崎喜博 (大武幸世)	横川貫司 (坪江三登子)	吉川雅之 (森田夕紀子)	
増垣謙二 (北野千秋)	里秀 雄 (内田てる子)	真島英橋 (櫻恭子)	村上雅則 (井口周子)	矢ヶ崎秀則 (福浜むつ子)	横畑茂 (前川邦子)	倉藤隆 (藤井郁江)	
平井松夫 (山崎寿枝子)	細川 博 (阿部真理子)	松野 孝 (松本悦子)	村越八郎 (景山つや子)	山下公成 (品川真知子)	吉田俊一郎 (森島千代)	安田文男 (中野のり子)	
平井敏雄 (西岡紀子)	松本邦俊 (武田美代子)	宮下昭彦 (阿部麗子)	村上和夫 (内野なをみ)	柳行 雄 (星野美代子)	與座茂弘 (中村恵子)	栗見利男 (石原友子)	
					米田好寛 (前田明子)	多久和享 (長瀬ゆくえ)	
					吉田健一 (海津幸子)	奥組澄男 (上田恵子)	
					渡邊和信 (平数あや子)	大野正信 (花清子)	
					渡邊廣昌 (江川千砂子)	山下守雄 (小林竜子)	

中華民國

徐英村 (吳秀蓉)
張貴信 (梁婉芳)